

あかぬ

第五十八号 令和二年



京一中洛北高校同窓会誌



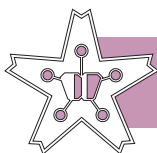
このたびの新型コロナウイルス感染拡大により、
学業、事業、生活面で多大の影響を
受けられている同窓生の皆さま、
また昨今の自然災害に罹災された同窓生の皆さまに
心からお見舞い申し上げますとともに
一日も早い収束と復旧をお祈り申し上げます。

今秋に開催を予定しておりました「京一中150周年
洛北高校70周年記念事業」は新型コロナウイルス
感染防止のため令和3年度への延期を前提に開催
が見送りとなりました。

※詳しくはP10をご覧ください

ご参加を募っての本年度の第67回総会は中止し、
各議案の承認は本誌掲載による報告に代えさせて
いただきます。

第67回総会に関する報告 (P51 ~P52)



京一中洛北高校同窓会

〒606-0851

京都市左京区下鴨梅ノ木町59
(京都府立洛北高等学校内)

TEL&FAX 075-712-0375

URL <http://www5f.biglobe.ne.jp/~kfrkd>

E-Mail kf31.rk41.d6@kna.biglobe.ne.jp



あかね

第58号

▼あかねの窓 50	▼母校だより 43	▼東西南北「夢のつづき」 37	▼集う・学ぶ・味わう 36	▼第67回総会に関する報告 64	▼校歌 54	▼会計報告 51 34 32 28 25 21 20 16 13 12 10 4 3 2
-----------------------	-----------------------	-----------------------------	---------------------------	------------------------------	--------------------	----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	------------	------------

題字「あかね」揮毫 表千家 久田宗也（昭和17年卒・故人）

COVER
表紙

「千年の営」



川端知嘉子
(旧姓 池田)
洛北20期

雷に打たれ、切られ、折られ、痛々しいまでの姿になりながら、なおも地中深く根を張り、天に向かって緑を繁らせ、鳥や虫たちの宿となり……無言で立つ老樹に、私は天と地を繋ぐ神を感じます。敬愛する宮崎進の言葉を借りれば、「ものを創る仕事というのは、美しさや純粋なものへの憧憬に応えて、生きるよろこびを押し広げていくこと」なのですが、老樹との時を共有する時は(目前のデッサンの出来栄えはともかく)自分が自然の一部だと体感する至福の時でもあります。

【作者略歴】 1977年京都日本画美術展新人賞。1978年京都市立芸術大学美術学部日本画専攻科修了。1981年日仏現代美術展二席。個展(東京セントラル絵画館ほか)。創画会准会員。御棕司川端道喜代表。

会長 高坂節三（洛北4期）

京一中卒業生への敬意

（プロフィール）（公財）日本漢字能力検定協会 代表理事会長兼理事長、

漢検漢字博物館・図書館館長

私たちの先輩である京一中卒業生が母校の創立150周年を記念してまとめられた『京都一中百五十周年記念 われら自由の学び舎に育ち』を読ませていただきました。深い感銘を受けるとともに、日本最古で自由な学び舎の伝統を引き継がせていただける幸せと、後に続く人たちへの責任の重さを感じた次第です。また編集のお手伝いをしてくださった洛北高校OBの皆さんにも感謝申し上げます。編集者の一人洛北高校OBの熊谷かおりさんが「あとがき」に書かれているように「学び舎は時空を超えて、すべての人に幸せを運んでくれますよう」、私も祈っております。

突然襲ってきた新型コロナウイルスで、10月開催予定の「京一中150周年・洛北高校70周年記念事業」をどうするかで委員の方々がいろいろな意見を出されているのを横からメールで見せていただいて、改めて皆さんの京一中・洛北高校への思いの強さを知りました。「金もない、人も足りない」と言って一旦中止を決めておられた皆さんに「できる範囲でいい、続けることが大切で、先輩への敬意と感謝、後輩や卒業生へ

の伝統の引き継ぎの気持ちがあればいいので」とお願いしたところ、素晴らしい周年事業計画ができてつつあり、非常に嬉しく思っていました。それを突然の新型コロナウイルス襲来で延期すると決めたことは本当に残念です。いったん立ち上げた計画を遅らせることは大変なことだと思いますが、来年開催を目指して、できる範囲で、時間をかけて進めていただきたいと思います。

私事になりますが、昨年2月、石川県の西田幾多郎記念哲学館で木村素衛（京一中大正3年卒）氏の企画展に際して行われた「父・木村素衛からの贈りもの」と題する講演会に、縁あって私も友情出演をさせていただきました。私の父と木村さんは無二の親友で、終戦の玉音放送を二人で聴きました。「これからは自由にものが言える」と喜び合い、「それには教育が大切だ」と張り切っていました。マッカーサー司令部に日本の教育の在り方を説くつもりでしたが、不幸にして信濃教育会の要請で風邪をおして信州講演中、51歳の若さで急逝されました。その後、父は「木村君が存命であったら戦後の日本の教育もこんなに酷くはならなかっただろう」と嘆いていました。西田哲学を学び「愛の哲学」を語っておられた木村素衛さんは、昭和18年11月20日の学徒出陣のことを「1500人が出陣していった。俺は数日泣いていた。立ち出でてまたも還らぬいのちありと思えば胸のえぐらるる哉」と記しておられました。



特別顧問 山本康一（京都府立洛北高等学校 附属中学校校長）

「いあいさつ」

平素より、同窓会の皆様には本校の教育活動に深大なご理解とご支援を頂いておりますことに、厚く御礼申し上げます。今般の新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかり、京一中・洛北高校の周年行事が先送りされましたが、各界のさまざまな影響につきましては心よりお見舞いを申し上げます。学校のICT戦略として昨年度「Class」を導入しましたが、今期は「You Tube」や遠隔会議システムを活用した広報や講義等を研究しているところであります。

さて、本校の普通科文理コースは、京都公立高校入学者選抜において、ここ数年間で洛北高校史上2番目の高い倍率をマークしました。本校の特色ある教育活動に対して高い評価を寄せていただいているものと喜ぶとともに、預かった責任の重さに気を引き締めているところであります。

今春の高校卒業生の進路実績については、現浪含めて、中高一貫コースでは東京大学に3名、京都大学に22名、医学部医学科に7名が合格を果たしました。文理コースからは大阪大学に2名、神戸大学に3名、公立大医学部医学科に1名と、国公立大学に計58名（過年度19名を含む）の合格者を出し、普通科としては出色の成果を収めました。スポーツ総合専攻からも京都教育大学に1名が合格しています。部活動では、高校では男女ハンドボール競技をはじめ、多くの部活動で全



国大会に出場する成果を上げています。附属中学校でも弓道部の全国大会をはじめ、全国的なコンクール等に出場する活躍をしています。

今春は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、5月末まで臨時休業を余儀なくされ各種大会の中止も相次ぎました。特に現3年生には過酷な状況であります。しばらくは「With Corona」の時代が続きそうです。若い時期の成長には、適切な身体的接触やコミュニケーションが必要ですが、それを実施しにくい社会情勢の中で、いかに教育を展開していくかが問われています。われわれ教職員は生徒諸君が心身のケアに留意しつつ、さらなる高みを目指して挑戦していけるよう、学校経営と教育支援とにおいて精進してゆく所存です。京都府教育委員会では「母校応援ふるさと事業」（母校への寄付金活用を取り組み）を実施しており、本校ホームページでも案内しております。同窓会の皆様には旧倍のご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

末筆ですが、同窓会の皆様のご健勝・ご活躍と同窓会の益々のご発展を心より祈念申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

特集

洛北高校在校生から 同窓の先輩たちへ

～『われら自由の学び舎に育ち』を読んで～

『むかし京都の一中生』とともに京一中記念事業の一環として同窓会が刊行した『われら自由の学び舎に育ち』。京一中から巣立ち、各界で活躍した著名な先輩たちによる珠玉の著作集から、今洛北高校で学ぶ生徒たちは何を受けとめ、どのような思いを受け継いでいくのか。本書の中からそれぞれが興味を抱いた1編について、感想文を寄せてもらいました。前号の特集「京一中OBインタビュー」に続く記念企画の第二弾。世代を替えて、母校在校生からの発信です。



『京都一中百五十周年記念 われら自由の学び舎に育ち』

明治から大正・昭和にかけて、京一中の自由の学び舎を巣立ち、各界に足跡を残した著名卒業生の作品・随想を厳選、収集。天折の画家、村山槐多の詩文、湯川秀樹・朝永振一郎の世紀を俯瞰した談話・評論をはじめ、科学・哲学・思想から内政・外交、探検、文化・芸術に至る幅広い分野の24編を収載する。「ノーベル賞学者、湯川秀樹が芭蕉の面白さを語り、大丸百貨店当主の下村正太郎が、京都に大丸と謳う。南極越冬隊員の犬ぞり隊物語に大自然のリアリティを知ることになる。」(あとがきより)。京一中(現・洛北高校)の自由の魂のありかと軌跡が、多彩な登場人物のエピソードで鮮やかに綴られる一冊。

稲垣真美(京一中昭和18年卒)
熊谷かおり(洛北31期) 編著
(ミネルヴァ書房刊)

各部の見出しと執筆者

第I部 科学と哲学の彼岸

科学・思想編

村山槐多／湯川秀樹／朝永振一郎／

木村素衛

第II部 国の内外、乱ありて治

内政・外交編

木下道雄／林屋永吉／枝村純郎

第III部 衆先利他・京の商法

経済・社会編

下村正太郎／熊谷直清／熊谷かおり

／大塚久雄／清水三男

第IV部 学級は戦陣を怖れず

学術・交友編

目賀田守種／田代 裕／樋口敬二／

辻田右左衛

第V部 探検・踏査は研学の始まり

土木・植林・探検編

大木 孝／芝 房治／土倉九三 梅棹

忠夫／川喜多二郎・富川盛道・中村尚

夫・山田 稔／北村泰一

第VI部 言語空間の深化目指して

文化・芸術編

新村 猛／狩野直禎／稲垣真美

『世紀のパラドックス』

著者・朝永振一郎
ともなが しんいちろう

(1906～1979)

「略歴と内容」

湯川秀樹とともにわが校出身のノーベル賞受賞者として知られる著者は、大正12年(1923)、京一中を卒業。三高理科から京都大学物理学科へ進み、大学院を経てドイツへ留学。不確定性原理による量子力学の権威であったヴェルナー・ハイゼンベルクのもとで実験研究に打ち込み、帰国後、繰り込み理論により場の量子論を一新。量子電磁力学に貢献した功績により、1965年、ノーベル物理学賞を受賞した。師ハイゼンベルグが、ナチスに兵器のための原子核研究を強制された苦悩を思いやり、アメリカの原子爆弾が日本に落とされて以来、さらなる兵器開発か、核防止か、世紀を超えた矛盾に、自然科学、人文科学、あらゆる分野の直面する問題を提起した、著書『物理学とは何だろうか』下巻の終章「科学と文明」からの一節がこの編。

人類が平和を勝ち取るために

2年3組 小野 暖人



私がこの文章を書いている今、人類にはコロナウイルスという「脅威」があり、感染の拡大予防に励むと同時に、「脅威」を排除してくるワクチンの「研究・

開発」を望んでいるのである。「科学の力」で研究は日々進められている。

しかし、思い出してほしい。人類の発展は今まで「科学の力」なくして実現しかねなかったのは事実であるが、さまざまな爆弾や核兵器などが生まれてしまったのもまた「科学の力」故である。

戦争時、敵対国は相手国が危険な兵器を作ってしまうのではないだろうか。それを使って攻めてくるのではないかという「脅威」から、より甚大な武力を手に入れようとして続けて兵器を作った。そうして今もなお「科学の力」で私たちは「脅威」を育てている。技術開発者はおそらく軍事目的ではなかったのだから、人類にとつての「脅威」を排除しようと生み出した技術が人類にとつての「脅威」になるとは、何とも皮肉な話だ。

筆者はこれを『気味の悪い状況』と表現しているが、本当にそうだろうか。確かに恐怖心がゆえに恐怖の対象を作り続けるというのはカオスであろう。しかし、生物学的観点からみるとこれはいたって普通のことなのではないだろうか。現に科学誌「ネイチャー」には人間の暴力性は霊長類の祖先から受け継がれてきたものであり、進化するにつれて相手を死に追いやる暴力の件数が増加するという研究結果があるのだ。人間史で見ても進化に比例するかのよう殺人の件数も増加している。

これは何を意味するのだろうか。筆者は後に「ローマ帝国や大英帝国が永遠に続かなかつたように、科学に代わった何かが発展の中心となる可能性もあるのではないか」と

述べている。「盛者必衰」という言葉があるように人類もまた永遠ではない。では、人間は自らの手でその幕をおろしてしまうのだろうか。私はそれまでに科学に代わる「何か」が発展の中心になるとは到底思えない。筆者も言うように「脅威」をなくそうと優先されるのは「科学の力」だからである。

現在の殺人率は歴史的に見るとかなり低い。これは平和に近づいているのか、はたまた人類滅亡の嵐の前の静けさなのか、どちらに転んでもおかしくはないだろうと思う。

いずれにせよ私たちは「脅威の呪縛」から解放され、技術と上手に向き合わなくては、人類が平和を勝ち取ることは難しいだろう。

(おの・はると)

朝永先生から学んだこと

2年2組 中村 梓

朝永振一郎先生は場の量子論を一新し、1965年に量子電磁力学の発展に貢献した功績により、ノーベル物理学賞を受賞されました。また、同時期には物理学の発展により原子爆弾が作られたことについて思い悩み、原子爆弾の禁止や原子力の平和利用を訴えられました。私がこの作品を選んだのは、今でも問題になっている原子力の利用について、物理学に携わっていた朝永先生が何を思い、この本のテーマである科学のパラドックスはどのようなものであると考えたのかに興味を持ったからです。

ここで朝永先生が考える科学のパラドックスとは、恐怖心から次々と新しい技術が発明されていく状況のことです。その例の一つに1930年代にウランの核分裂により巨大なエネルギーが出る時、他国が自国より先に原子爆弾を完成させて不利な立場になってしまうかもしれないという恐怖心から、より早くより強力な原子爆弾を作ろうとし、その結果、より破壊力のある水素爆弾が誕生してしまった、という歴史があげられます。この連鎖は、今日新しい発見がされて科学者が新しい知識を得る限り続くので、より恐ろしいものができる前に、さまざまな分野の専門家が力を合わせて、戦争のない平和な世界をつくる方法を考えなければいけない、と朝永先生は考えています。

これを読んで私も科学とのつき合い方について真っ先に考えなければいけないと思いました。なぜなら科学技術の発展が、必ずしも人間にとって良いことだけではないと思ったからです。その例として、原子爆弾の他に、AI（人工知能）があげられると思います。AIは今日身の回りにたくさんあり、大量のデータを処理して仕事を効率よく進めることができる一方で、その使い方によって多くの人間の仕事を奪ってしまうという面もあります。実際にAIや電子機器の発展のおかげで私の身の回りの生活は便利になって、キーボードや画像などからでも、知りたいことをすぐに調べることができですが、振り返ってみると、前よりも生活の中でわからないことに対して自分で考えず、すぐに機械に頼ってしまうことがたくさんあります。このように科学技術はその利用法によって人々に恐怖を与えて

しまうこともあり、また人間の生活を一変させてしまう可能性もあるので、科学技術を生活の中でどう生かしていくかを考えることが大切だと思いました。

このエッセイを通して人間が科学との平和で上手な付き合い方をまだよく知らない中で、日々技術を発展させている危険さを知りました。身近なことで考えれば、最近の技術が生まれている中で、それについてよく知らないまま便利さだけに頼ってしまうといけないことだと思えます。だから今回を機に自分の生活を見直して自分にとって有益かどうかだけで判断せず、その行為が将来どんな影響を及ぼすか考えて行動していきたいと思いました。

(なかむら・あずさ)

『ソ連からロシアのはざまに』

著者 枝村純郎

(1936)

〔略歴と内容〕

昭和23年(1948)、京中を四年修了して旧制三高最後の入学生となり、京都大学法学部在学中に外交官採用試験に合格。外務省に入省して在米日本大使館書記官、北米課長、アジア局長、中南米局長、スペイン、イラン大使を経て激動期のソ連・ロシア大使を歴任した。佐藤栄作首相の沖繩返還時の声明や、福田赳夫首相のASEAN

歴訪に際しての「日本は軍国主義にならない」という原則に基づく理念外交の実現に尽力し、中南米局長としても長期的な友好関係の維持に努めるなど、戦後の重要な外交局面で活躍した。とりわけソ連崩壊からロシアへの激動期には、大使として北方領土問題の打開を視野に、エリツィン訪日などに夫妻で奮闘した。外交の本義は外交交渉にあり、この思いに貫かれた当時の日常についての二編。

「外交のイメージ」が変わった

2年6組 白土雄太



日本は、北方領土や尖閣諸島などの色々な領土問題を抱えている。それらを平和的に解決するのは、外交という国対国のコミュニケーションだ。今までは外

交と聞くと、形式的で固苦しく人間味のないものだという印象が強かった。今回、『ソ連からロシアのはざまに』を読んで、その印象は大きく変わった。この作品は、元ソ連大使の枝村純郎さんが外交官としての目線で、ソ連崩壊の一部始終を描いたものである。

1990年4月11日、筆者はソ連の大統領、ゴルバチョフと、訪日日程について協議するためにクレムリンへ赴いた。その帰り際、ゴルバチョフは訪日に向けて、「総理と外務大臣によるしく」と言ったので、筆者は「陛下にも申しま

しよう」と返して、天皇陛下のことも配慮してほしいということを暗に伝えた。このことから、挨拶ひとつをとつても、相手の心の中を読み取り、相手の気分を書さないように言葉を選ぶことが、外交官に求められる能力であり、円滑な外交を進める上で重要なことだと思った。

筆者とゴルバチョフとの会談から約4カ月後、ソ連でクーデターが起こり、ソ連崩壊が始まった。それに伴い、武力衝突の危険性が高まっていた。筆者は、現地の日本人を退去させるか、留めておくかの選択を迫られることになる。そこで筆者は、「歴史に対して責任を持つ」という考えから、慎重な判断で、退去は保留すると決断した。このことから、外交官の決断とは、その後の歴史や人々の人生を左右するものであり、それだけに大きな責任が伴うものだった。このときの重圧は、これらを経験した枝村さん本人にしか分からないだろう。しかし、自分の言葉に責任を持つという意味では、ネット社会の現代において、自分自身を含め、誰もが意識する必要があると思う。

ソ連崩壊後、「独立国家共同体」が設立された。この事態の責任をとり、ゴルバチョフは大統領を辞任した。そのとき筆者は、ノーベル平和賞受賞者でもあるゴルバチョフが、不本意な形で退場させられたことを残念に思いながらも、「機知に富んだ魅力的な人柄に親近感があった」と、人間的な部分についても回想した。実績や肩書きを抜きにして、外交相手の政治家の内面的な良さを見つけられるというのは、外交を経験した枝村さんにしか分からない、外交官という職業の醍醐味だと思う。

今まで、国対国の外交に対して無機質なイメージを持っていたが、この作品を読んで少し親近感が湧いた。なぜなら、外交の中にある、人間的な温かさに気付くことができたからだ。結局のところ、国対国の外交は、人対人の温かいコミュニケーションで成り立っているのだから。

(しらと・ゆうた)

『南極越冬隊員として』

西堀榮三郎・犬ぞり隊

著者：北村泰一

(1931)

〔略歴と内容〕

京都一中昭和19年入学、新制鴨沂高校を経て、京大物理学部地球物理学科を卒業。京都一中、三高・京大の先輩でもある西堀榮三郎が、昭和29年第2次南極探検隊長となった際、大学を卒業したばかりにもかかわらず犬ぞり隊、オーロラ観測の任に命じられる。最年少隊員として第1次探検隊で犬たちと寝食を共にして奮闘、越冬隊にも加えられたが、第2次越冬は無理との判断でいったん15頭の犬たちを残して帰国。翌1958年、南極越冬の先発隊に加わり、再びもとの基地を訪れた時、奇跡的に生きていたタロ・ジロとの再会を果たす。世界に伝えられたこの感動物語へと至る隊員の歩みと、犬ぞり隊の南極ポツナーテンでの探検旅行の軌跡をつづる本作は、本誌「あかね」第45号(平

成19年刊)ほかに掲載されたものである。

開拓者らしく歩むために

1年2組 成田 愛実



北村泰一氏は、初期の南極探検で、タロ・ジロで有名な樺犬たちを率いた方だ。彼の回想録には、冒険小説のようなワクワクを感じさせる何かがある。その理由は、『パイオニアの人生』という言葉が表す彼の生き方にある。

「諸君は、パイオニアの人生を送りたまえ……」京都一中で生物を教えていた金井千仞先生がこう語った。この言葉を聞いた当時十四、五歳だった北村氏は、その後京大に進学した。そこで山岳部の先輩の「低くてもよいから、(中略)自分の山に登れ!」という教えに触れ、二つの言葉が示す生き方は同じだと気づいたという。この発見が、彼が探検に生きようと決心する一つの大きなきっかけとなった。

回想録のエピソードの中で私が一番驚いたのが、南極行きの隊員選考の際の話だ。隊員候補者の多くは、雪上車を運転できれば有利だからと、当事珍しかった自動車の免許をこぞって取得した。ところが北村氏は「人が自動車なら自分は犬ぞりだ」と、あえて誰とも違う特殊技能で勝負することを決めたのだ。狙いどおり採用されたか

らよかったが、相当に勇気のいる決断だったことだろう。

自分が「これだ」と思ったら、他人のいない道でも臆せず突き進む。私は北村氏のような生き方に憧れている。けれど、このエピソードを最初に読んだ時、格好いいが私には到底こんな決断はできそうにない……と怖くなってしまった。

だが、今諦めるのは、違ふと思う。なぜなら、送る人生は一人ひとり異なるからだ。ずっと周りと同じ選択でいいと思っけていても、自分で考えて決めなければならぬ時は、いつか必ずやってくる。その意味で私たちは最初から、人生の開拓者なのだ。だから、開拓者、つまりパイオニアらしく力強く生きることが出来るはずだ。

『パイオニア的人生』につながるヒントを、私は先に紹介した京大山岳部の教えに見つけた。自分の登る山が「低くてもよい」ことが重要だと思ふ。山を別の言葉に置き換えると、「下手でもよいから、自分で立てた目標に向け努力する」「些細なことでも悩んでもよいから、それについて真剣に考える」……。自分らしく堂々と生きたければ、弱さも含めた自身と真剣に向き合え、ということだろう。耳の痛い言葉だ。けれど、時に迷いながらも毎日悔いなく過せば、その先に目指す生き方がある。何かにつまづいたり悩むことは今後もたくさんあるだろうが、「これが今の私が登るべき山なんだ」と心の中で唱えながら歩いていきたい。

(なりた・まなみ)

自分の山に登れ

3年2組 和田 瑛伶奈



「昭和基地を立てたメンバーには洛北高校（京都一中）卒業生がいるんだよ」。中学二年生の時、洛北サイエンスで南極について講義を受けた。はじめに

講師の先生がおっしゃったその言葉が、ずっと頭の中に残っていた。今回、この機会に開いた本の目次に『南極越冬隊員として』というタイトルを見つけ、思わず引き込まれた。洛北高校の先輩が日本の南極観測のパイオニア的存在で、その上、犬ぞり担当で、有名なタロ、ジロとの奇跡の再会を果たした方だと全く知らなかった。筆者の北村泰一先生が南極を目指すに至るまでには、心に留めていた幾つかの言葉がある。

「諸君はパイオニア的人生を送りたまえ」という、京都一中のベテラン教師で、山岳部創設の契機を作り多くの生徒に影響を与えた金井千仞先生の言葉。京大の山岳部でエベレスト登頂を意気込んでいた時に出会った、西堀栄三郎氏をはじめとする京都一中からの先輩の「低くてもよいから、諸君だけの、前には全く足跡のない山に登れ。『自分の山』に登れ!」という教え。それらの言葉に導かれるように、北村先生は当時、始まろうとしていた南極探検への参加を決意し、他人にはない能力を持つと、犬ぞりの技能を習得する為の行動に出たのだ。

はじめに思い描いていたのとは違う展開になっても、思いがけない巡り合わせにより、結果的に当初の予想を超える成果につながることはある。中学二年の時に終戦を迎えた北村先生。進学した京大の山岳部での出会いから、自分の山に南極観測隊入りを決意。京都一中の先輩方の助言を請い、大学院を辞めて犬ぞり訓練の為に北海道へ向かうことになった経緯にも、不思議な縁を感じずにはいられない。そして見事、観測隊入りを果たし、実際に南極では雪上車ではなく犬ぞりが行程の大きな助けとなることになったのだ。まさに「自分の山に登れ!」の成果だ。北村先生は京都一中時代の先生や先輩からの言葉を心に抱き、進むべき道を求め続けた結果、北海道や南極という京都からは遥かに離れた場所に、これも京都一中の先輩方の繋がりにも支えられて導かれていった。自分が学ぶことができる場所、活躍できる場所を求め、少しでも目標に近づこうとする先生の思いが、周囲にも響き、道を拓いて確実に何かを生むのだと感じさせられた。

先輩方の作品を読むと、学歴や立場を求めるのではなく、学問や興味を純粹に追究する姿があふれていた。たゆみのない努力で物事に向かう探究心、他分野にも世界を広げていくことで豊かになる人生観を見て、学ぶことの本質を教えられた気がした。最短最速ルートを求めて自分の興味を狭めることにならないよう、さまざまな機会を通して自分を発展させていけるような学び方をしていきたい。創立から150年間に詰まった先輩方の重みを改めて感じると共に、この伝統ある学び舎を卒業しても、洛北高校卒

業生であるという誇りを胸に邁進していきたいと思う。

(わだ・えれな)

『非戦の断章』

「人と山の破滅」

『兵役を拒否した日本人』より』

著者・稲垣 真美

(1926)

『略歴と内容』

本書の編者である著者は、京都府八幡に生まれ、3歳から京都市北区の加茂川河畔で育つ。作家、評論家、京都師範附属第二教室で読書と作文で随一といわれ、『君たちはどう生きるか』を京都一中入学前に読む。入学後、ドストエフスキー、ロマン・ロランらの文学に親しみ、フランス語を独習。戦後、肺患に苦しみながら東京大学美学科大学院を出て、文学の世界へ入った。「人と山の破滅」は、四年生当時の太平洋戦争開戦後、校内学生会誌に発表した非戦的一編。『兵役を拒否した日本人』(1972年、岩波新書)は著者が論壇に登場した記念碑的作品。ここでは、そのあとがきからの引用を載せる。尾崎翠の全集の編纂や戦中非戦を貫いた母の生涯を描く長編『あかざれ夫人の肖像』など編著多数。同窓先輩にあたる画家・村山槐多の探究にも取り組む。

自由な人間になりたい

3年1組 友光 麻結



『人と山の破滅』を一読して、自然と頭の中に情景が映し出される、美しい文章で紡がれる、そう、御伽話のようだと感じました。繰り返し読み、優しい

語り口の奥に、何も知らない私は到底分り得ない深い世界が広がっていると感じました。戦争のない世界に住む私は、そのような面においては幸せに暮らしていますが、自由に生きる権利と引き換えに、想像する力を失ってしまったようです。他国の人々とも、巨大な思想とも戦う必要のない私は自分で考える力を失ってしまったようです。

私は物事に対して意見をもつことができます。そして自分の意見を主張すれば、呆気なく反論されることもあります。これは誰にでも当てはまることかもしれません。しかし、自分の頭で考え出したものに反論されると、少し悲しくなります。私はプレゼンテーションが苦手なのだろうか。そもそも物事の見方が間違っているのだろうか。そのような少しの悲しみが積み重なり、私は私の考えを大切にできなくなりました。

『兵役を拒否した日本人』のあとがきを読みました。「孤独な個人のなかにこそ抵抗の核があり、そういう個人のまえに恐怖したのは、一見巨大にみえた体制の側であった」と記されています。

た。人は誰でも孤独な考えをもっているものだと思います。しかし、だからといって「抵抗の核」をもつ「孤独な個人」になれる訳ではないとも思うのです。では、自分の考えが正しいと妄信すれば良いかといえば、それだけでは考えに核は持たせられないでしょう。私は、そのために教養が必要だと考えます。教養によって、さまざまな側面からの利害を考慮したり、先人たちの経験をもとに物事を考えたりできると思っています。そして、核をもった考えが通説と異なっていた時、それは「抵抗の核」になるのでしょうか。

高校生になり大人の入り口に近づくにつれ、教養のある大人がいかに豊かな考えを持っているかを痛感するようになりました。そして『われら自由の学び舎に育ち』を読み、先輩方の教養の高さを改めて目の当たりにし、畏敬の念を抱きました。歴史ある洛北高校に入学したからには、幅広い教養を身につけられるよう邁進します。平和で、されど慌ただしい現代に生きるからこそ、核のある考えを生み出したいのです。自分の考えを大切にしたいのです。たとえ自分が巨大に見える体制と対立したとしても、孤独に戦うことのできる、自由な人間になりたいのです。

(ともみつ・まゆ)

京一中150周年洛北高校70周年記念事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため
令和3年度への延期を前提に、見送りいたしました。

開催予定



京一中150周年・洛北高校70周年 記念式典・祝宴

～京一中の歴史をつなぎ、洛北の夢をつむぐ～

令和3年10月16日(土)

(会場その他詳細は次号「あかね」第59号に
掲載いたします)

※諸事情により変更となる場合があります。

令和3年、世界が新たな社会へと歩みを進める時

京一中150周年、洛北高校70周年の意義を改めて見詰め

「京一中の歴史をつなぎ、洛北の夢をつむぐ」のテーマのもと

さらなる工夫を凝らした記念企画をご準備して

一人でも多くの卒業生・在校生の皆さんと

祝賀の感動を共有できますよう、

ご参加をお待ちしています。



学外関連展示(本年開催)

京都府・京都文化博物館主催

「京都府内の学校所在資料展

— 京一中・府一・京二中のたからもの —」

令和2年9月19日(土)～12月6日(日)

今年が記念年にあたる京都府内の旧制中等学校の代表的存在、京一中(当校)、府一女(現・鴨沂高等学校)、京二中(現・鳥羽高等学校)に着目し、各校に所在する貴重な資料と保管・利用の様子を紹介。当校からは同窓会所蔵の明治期の実験器具や試験問題・校旗をはじめ会誌・写真・資料データなど約20点を出品します。

会場 京都文化博物館
(京都市中京区三条高倉)

入場料 一般500円・大学生400円
高校生以下無料

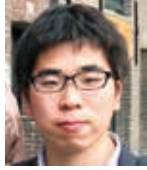


MESSAGES

※敬称略



●●● 記念講演 “宇宙” 講師から ●●●



● 理学化学研究所 坂井星・惑星形成研究室
● 基礎科学特別研究員
● **野津 翔太** (洛北 59 期)

- 大型計算機による理論計算や望遠鏡による観測を通じ、地球や木星の様な惑星の形成過程や、惑星形成現場で起きる水や有機分子の形成過程を調べています。新型コロナウイルス感染拡大に伴い様々な影響を受ける中でも、オンラインでの学会や議論を途切れなく続けるなど、世界中で多くの研究者が困難な状況乗り越えて研究を続けています。大変な状況が続く中、在校生の皆さんも先の見えない不安を感じることもあるかと思いますが、そんな中でも、今できることに全力で取り組むことは、必ず一つの未来、そして将来の皆さんの夢を叶えることに繋がっています。来年また皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。

● 米国コロラド大学ボルダー校
● 大気宇宙物理学研究所
● 日本学術振興会海外特別研究員
● **野津 湧太** (洛北 59 期)



● 宇宙望遠鏡や地上の大望遠鏡による観測を
● 駆使し、「スーパーフレアという巨大爆発現象が太陽で起こるのか?」「起きたら地球等の惑星にどんな影響があるのか?」といった点について研究を行っています。新型コロナの感染拡大状況下でも、様々な困難を乗り越えつつ、世界中で宇宙の研究は途切れることなく続いています。国内では京都大学岡山せいめい新望遠鏡も成果を出し始めました。今後も、皆さんに明るいニュースを届けられるよう、日々取り組んでいきます。

● 京都大学大学院
工学研究科分子工学専攻
今堀 博
(洛北 29 期)

- 大学では会議、授業はインターネットのZoomが主となっていますが、皆さんはどうでしょうか。大変な時期だと思いますが、悪いことがあれば、良いこともきっとやってきますので、負けないで頑張りましょう。

落語家
(桂ちょうば)
大倉 正裕
(洛北 46 期)

- われわれ表現者は新しい時代が来る今こそ、新たな「何か」を創ってお客様に楽しんでもらいたいと思っています。在校生の皆さんもコロナに負けず、何でもいいので創る、または始める心意気で立ち向かってほしい。

ソフトバンク株式会社
ビジネスパートナー営業本部
加藤 理恵
(洛北 63 期)

- 2020年、さまざまな考え方が変わりつつある今とこれらを、皆さんはどのように見えていますか?セミナーでは皆さんと、私の高校・大学時代の経験をシェアしながら「視点」をテーマにお話しできればと思います!



京都大学理学部
博士課程修了(物理学専攻)
元宇宙科学研究所教授・
はぶさ科学リーダー

藤原 顕
(洛北 10 期)

在校生・卒業生の皆さんこんにちは。ここるところコロナ騒ぎで大変ですね。現代社会ではこれに限らず、環境変化などがあつという間に世界中に広がり、人間の制御の効かない状態になってしまいがちですね。地球も昔に比べて随分小さな存在であると思われるようになり、宇宙の中での地球や人間を考えることも多くなりました。私は、来年の記念会で最近の惑星探査について話をさせていただくつもりです。惑星探査や宇宙開発というと、日常生活とは無縁に聞こえるかもしれませんが、そうではありません。私たちの一世代前には、考えられなかった衛星通信、GPSなどが日常生活で当たり前になってしまいました。私の話は科学の話が中心となりますが、近い将来には思いもよらぬ宇宙利用も目指されるようになるでしょう。そんな未来への変化に思いを馳せながら聞いていただけると幸いです。来年にはコロナ騒ぎが落ち着いて、皆さんと元気でおいでできるのを楽しみにしています。

●●● OBOG 学内セミナー講師 (予定) から ●●● ※50音順

京都大学
ウイルス・再生医学研究所
副所長
再生免疫学分野教授
河本 宏
(洛北 29 期)

- 新型コロナウイルスは手強い。ワクチンや抗ウイルス薬はあまり効かないかもしれない。私達は、「汎用性キラーT細胞製剤を投与する」という、全く新しい治療法の開発を始めた。次の機会にはその話もしようと思う。

秋田大学大学院医学研究科
腎泌尿器科学
羽瀨 友則
(洛北 29 期)

- 40歳を前に突然、秋田に呼ばれ、以來ずっと田舎暮らし。泌尿器科の手術も開腹から内視鏡、DaVinciに、と驚きの変りようです。コロナがなくとも、人生や社会は波乱万丈。ぜひ“したたか”に楽しんでください。

WTO (世界貿易機関)
貿易政策審査部参事官
早藤 昌浩
(洛北 30 期)

- 皆さん、毎日さまざまな不都合とともに生活されていることと思います。欧州も平常に戻るまで時間がかかりそうです。それでもグローバルな文明は復活すると思います。その時に備えて勉強を続けてください。応援しています。

令和になって初めての同窓会を華やかに 謡曲『高砂』の唱和や洛北ゲームで楽しく

令和元年の同窓会総会を、11月30日(土)京都タワーホテル八閣の間にて開催しました。例年通り、総会・講演・懇親会の3部構成。講演は観世流能役者の味方玄氏が登壇。おめでたい『高砂』を人間国宝の「口写し」で習うという、またとない指導を経験。懇親会は洛北37期のOGトリオが母校にちなんだゲームを考案。豪華景品を目指して参加者たちがチャレンジし、和やかで実りある集いとなりました。

総会では高坂節三同窓会長の挨拶に始まり、令和2年の記念事業について開催決定までの経緯が話され、参加への呼びかけがあった。議事の進行は、洛北27期の渡辺隆司さんと28期の大橋晃さんによる議長団が担当し、三島理事長による同窓会会務活動の基調報告、続いて1年間の常任理事会の活動および30年度の会務・決算・監査報告、31年度(令和元年度)の予算案の説明があり、会場の拍手をもって承認された。「あかね」編集部からは発刊への感謝とともに広告受注状況の報告がありさらなる協力を要請した。

また京一中150周年・洛北70周年記念事業の木下博夫実行委員長(洛北10期)から事業の準備状況や進行スケジュールについて説明があり、楽しい式典にするための今後の肉付けと動員について会員への協力が依頼された。続いて河原総務部会長が記念式典・祝宴から学外関連イベントまで、現在予定されている事業全般を紹介した。

講演は洛北34期の味方玄氏が、洛北時代から修業の日々の話に謡の実演や『高砂』の謡指導もまじえ、能の奥深さに触れる贅沢な内容となった。

懇親会は、洛北高校の山本校長の乾杯で始まり、洛北37期の大谷さんら3人が洛北にちなんだ15のクイズを豪華景品付きで提供、楽しく盛り上がるなか、横山副会長の母校への想いを込めた言葉が会の最後を飾った。



能役者として育った私

講師 味方 玄しずか(洛北34期) 能楽・観世流シテ方

能楽師の家に生まれて

味方でございます。高いところから失礼いたします。何度かお話を頂いておりまして、今回やっと寄せていただくことができました。私の修業時代のことを、洛北高校やお能のこともまじえてお話しさせていただきます。

生まれしたのは寺町今出川上がったあたりでして、京極幼稚園、京極小学校、上京中学校、洛北高校と、京都の名にし負う学校に通いました。祖父は十念寺という浄土宗のお寺の第三十三代住職を務めておりました。父は寺を継がずにいたのですが、ちよつと体が弱かったので「謡(うたい)でも習いに行かそう」ということで、能を習うようになりました。私は子方(こかた)の子役)、『橋弁慶』で言えは牛若丸をやるような役によく出させていただきました。その頃は、声はよく出るし長い間座っていられるし、父親の稽古のおかげで台本を見なくても謡える。『自分は天才や』と思っていたのですね、怖いものなしでした。

能を大成したといわれる観阿弥と世阿弥親子の、室町時代の伝書『風姿花伝』の中で、世阿弥は舞台上の芸の魅力を「花」と言いました。その花は「時分じぶんの花」といい、その時その時に咲く花です。一番最初の花は、六、七歳の頃、まだ自我がない年齢ですから「立っていないさい」と言われると、言わ

れるままに立っている。世阿弥はそれが何とも「無垢で幽玄だ」というわけです。カッコよく見せようとしていない。見た目といい、ボーイソプラノの声といい、素直な心といい「幽玄なり」と。しかしそれは、幼少期の花であって、永遠の花ではないわけですね。永遠ではないから「花」とネーミングした。

「十七、八歳」のところには「この頃はあまりの大事にて稽古多からず、まず声変わりぬれば…」そして「第一の花失せたり」とある。せつかく小さい時にまっすぐな花が咲いたのに、時がたつと、その花は失せるよ、ということとを世阿弥は言っています。ちよつとこの頃が、私が洛北高校に入学した頃でございます。

洛北高校そして修業の頃

洛北は校風がリベラルなところがありました。生徒用トイレに入ったら、前に「禁煙」と書いてある(笑い)。クラスには髭を生やした落第生がいたりして「俺この間

【プロフィール】

1966年京都に観世流シテ方・味方健の長男として生まれる。1971年「鞍馬天狗・花見」で初舞台。片山九郎右衛門に内弟子入門。1991年独立。1996年から能の現代における可能性を探り、独自の舞台世界を創り出す「テアトル・ノウ」を企画、公演。2011年重要無形文化財(総合)認定。著書に「能へのいざない」(淡交社)





洛北高校の頃

成人式やったんや」「そうでしたか」って、そんな時代。校門前の店で買ったお菓子やクラブのボックスや教室で友達と食べたり、ちよっと大人な感覚を味わえた時代でした。その頃の僕の手帳には能の公演や太鼓・小鼓の稽古の予定ばかり書いてある。子方は務まらず、半人前ですから大人の役もできない。大道具の組み立てとか、装束を着けるお手伝いとか端役に重宝されていました。地方巡業から夜行で帰ってそのまま学校へ、などということもあって、机に伏せていますと先生に「味方、たまに出てきたのやから起きていなさい」と叱られたりしました。単位もギリギリ。風邪を引いても休めません。その頃はもう学業でやっていこうとは思っていなかったたので、洛北を卒業して一年余り大学の聴講生になって、その後、能楽観世流の重鎮・片山九郎右衛門先生に内弟子として入門しました。

能と舞とはジャンルが違いますけれども、京舞の人間国宝・井上八千代先生（四世）の息子さん（後に人間国宝になられた観世流能楽師の九世・片山九郎右衛門（後に片山幽雪）先生だったわけです。その娘さん、つまり八千代先生のお孫さんが、今の人間国宝の五世・井上八千代先生、その弟さんが今の十世・片山九郎右衛門先生というご一家。内弟子というのは二十四時間体制で先生のお宅にいて、先生が「ええ」と言うまで無罪放免されません。ですがこの時代が、僕にとって一番有難い時代、自分の視野も広がり、鍛えられた時代でした。

先代の井上八千代さんからは「何でも『はい』と言うて素直にやらなあかんえ」として「いつも身ぎれいにしてなあかんえ」と教わりました。七月一日になると「玄ちゃん、提灯は吊つたか」とおっしゃる。その一言から、ああ今日から祇園祭やから提灯を吊らなあかんのやなと習うわけです。忘れもしないのが正月二日の初稽古のこと。この日から稽古を始めると芸が上達すると聞いていたので、張り切って朝八時に稽古舞台へ下りて行ったら、すでに音がしている。八千代先生が一人で『倭文』を寝間着のまま鈴と扇を持って舞うはったのです。「参った」と思いました。「すべてが芸の家」なんです。先生は私の小さな公演にも来てくださって「あそこはこうえ……」とご指導いた

だいたのが一番の思い出であります。

京都で能を演じるということ

能の現行曲は二百三十番ほどあって、そのうち「嵐山」とか「東北」とか、京都を舞台としたり京都で起こった出来事を題材にしたりしているものが五十曲ほどあります。われわれが京都にいて有難いのは、何百年も前に書かれた演目であっても、その風土が現在まで残っていて非常に得がたい経験になることです。

例えばこのタワーホテルの近くの東本願寺の飛び地であります涉成園の一带は、昔、源融（みなもとのとおる）の邸だったといわれています。『融』というお能を僕は好きで、よく舞うのです。嵯峨天皇の皇子である源融は、臣下へ下って趣味に生きます。陸奥千賀の塩釜の風景を都の中に映すわけです。ものすごいスケールですよ。山の向こうの浜辺で塩を焼いて、ほおっと煙が立つのを山のこちらから眺めては「ああ風流やな」と言う。邸宅の中ですよ。それくらい贅沢をした。それと彼のノスタルジアがそこにある。物語は、廃墟になった六条河原院（融邸跡）を通りかかる旅の僧の場面から始まります。町中へ汐汲みの爺さんが出てくるからおかしい、といぶかる。その汐汲みの爺さんがいったん引つ込んで、在りし日の美しい融の大臣が出てくる後のシーンとの間に中入の間狂言で「潮を汲む人が千人いて連ぶ人が千人いて焼く人が千人いて毎日三千人がここにいて働いていたのだ」みたいな話を言うのです。その最後に「今も月の明々として面白き夜には融の大臣、仮に現れご沙汰なさる」というのです。「今も」ということは「令和の今も」ということ、月が煌々として明るい夜に、融の大臣がそこに現れて在りし日をしのんで亡霊が現れるという話。

舞台では廃墟に現れた老人が引つ込みますと、出囃子が鳴って、融が現れる。す



ると月が煌々と上がって、ぱあーと河原院に光が満ちて、枯れた池は水を湛える、葉っぱの落とした木々は緑を成す、朽ちた御殿はピカピカの御殿に甦る、そういう幻を見せるお能なのです。つまり能というのは書き割りがないところで、皆さまの感受性に訴えるように演じるわけですが、それが京都にいますと、数百年前に実際にあった、その現場で演じられる。それがわれわれにとって本場に得がたいことだな、と思うわけですね。

「高砂」を謡ってみましょう

喋るだけの奴やと思われると困るので、謡うことにします。お能の中で「得がたい友」をテーマにした『松虫』という曲を謡います。

『松虫』（味方氏による謡）（拍手）

もう一つ、今日は皆さんと謡おうと思って『高砂』の歌詞をお配りしました。昔は結婚式の時によく謡われました。これをちよと「口うし」で稽古をして謡おうと思います。私が先に手本をうたいますので一句謡ったら一句謡ってください。一生懸命声を出してください、いきまますよ。

「へ高砂やー」ハイ！（会場）「へ高砂やー」……（一句ごとに謡う）

そんな感じ、そんな感じ。ではもう一度。（一句ごとに謡う）では通してやりましょう。まだ終わりませんよ。（笑い）



（全員で）へ高砂や この浦ぶねに帆を上げて 月もろともに出で潮の波の淡路の島影や 遠くくなるもの 沖すぎて はやはや住之江に つきにけり はやはや住之江に つきにけり（会場拍手）

最後に少しだけ能面を見ていただきます。これは「小面（こおもて）」と言います。若い女性役に使います。左右対称に見えますけれども、向かって右目が少し斜視になって、外を向いているようにわざと作ってあります。曇もつた（うつむいた）時に、わずかに憂いのある顔になり、照らした（上を向いた）時には、ほほえんだように見えるのです。それと、面を着ける時は、意図的に役者の顎が少し出るように付けます。そうすると例えば「悲しい」という演技をする時に、役者の肉体と面とが引つ張り合いをするような感じになるのです。「うつむいたから悲しい、上向いたから明るい」というような単純なことではないわけです。

お能は歌舞伎と違ってストップモーションでものを見せないのです。「見ている」という状況そのものが表現になるわけです。また『井筒』ですと、「伊勢物語」に取材した曲目で、『井筒』に出てくる主役の女のその昔と今をつなぐツールが、井戸であったり月であったりするわけですね。ですから面が固有名詞をもった顔でなくていいわけです。時間がまいましたので、この辺でお仕舞いにさせていただきます。

ありがとうございます。

（令和元年11月30日京都タワーホテルにて）



村山槐多・

京都一中時代の実像

— 同級生たちが残した証言 —

稲垣 真美 (京一中昭和18年卒)

はじめに

一九七二(昭和四七)年六月二四日午後、当時まだ健在だった京都一中大三(一九一四)年ご卒業の、画家・詩人村山槐多(一八九六―一九一九)と同級だった方々九名と、篠原新次郎(上智大学)という旧師も加わられて、生前の槐多を語る座談会が東京一ツ橋の学士会館の一室で開かれた。これは、新たに槐多の評伝を日動画廊の刊行していた『絵』という雑誌に連載される詩人の草野心平氏が、京一中・洛北高校同窓会へ取材を申し込んで来られたのに応えた営みだった。座談には草野氏と秘書の女性、槐多の従兄山本鼎(画家)の長男で詩人の山本太郎(のち『村山槐多全集』監修)、『絵』編集人だった三好寛佳の諸氏も出席。私は村山槐多と同じ京都師範(現京都教育大)附属小学校と京都一中の三十年後輩だが、大学で美学・美術史を専攻し、一中在学中講堂に掲げられていて新制への戦後移行時に行方の知れなくなった『乞食と女』の絵を探し始めていたので、同窓会からの要請もあり参加した。座談会の席も私が設営し、諸氏発言のメモもとった。

— この座談会に先立ち、十日ほど前だったが、会の世話役もされた森安正さん(京都一中大正三年卒、千葉大学薬学科卒。当時カメラ関係会社社長、北浦和在住)が、突然東京成城の私の家を訪ねて来られた。手に八通の分厚い書状の入った紙包みを抱えておられた。

「正月の年賀状で、槐多と同級だった健在の仲間たちに、何でもいい、槐多の思い出を書いてくれと頼みましたんや。そしたらこれまでにこれだけ来た。関西住まいで今度の座談会に出れない友達も多い。草野さんに渡すつもりやが、参考にあんた読んで下さい。参考にして、あんたもきつと槐多のこと書いて下さいや」。森さんはそう言って、その同級生の方々八人からの手紙の束を置いて

帰られた。

座談会のときまで貸与された形の書状の束を私は逐一開いて読んだ。そしてすぐに、これは二十二年と五カ月の村山槐多の一生の、大切な半ばを占める小、中学時代十一年間の創世記ともいうべき、まさに槐多の実像を伝える重要な資料だと思った。いずれ草野氏が活用されることになるのだろうか、私は私で全書状を逐一、一字一句すべて書き写しておこう(いまならコピーするところだが、まだその時はそういう機器はなかったのだ)と決め、すべての、いわば証言を特別大型のノートに書きとることにした。長いのは四百字詰原稿換算で三十枚近くあった。書写の日付が入っている。一九七二年六月二十一日。座談会に先立つこと三日前である。結構多忙だった当時の私は、ギリギリになってきつと夜を徹して書き写したのだろう。そのノートが、先日、二〇一九年暮に古い資料入れの段ボール箱の一つから出てきたのである。昨年は槐多さんの歿後百年、同級だった方々からもっといろいろ聞いておきたかった、と何度思ったことか―その槐多さんの親しい友人方の声が、思いがけず見つかったノートの紙面から甦ってきたのである。しかもこれらの書状の中身は、後に草野心平著『村山槐多』(一九七六年、日動出版)としてまとめられたのを読み直すと、恐縮ながら絵画史あるいは人物史として重要なデータと考えられる折角の同級諸氏の証言の数々なのに、十分に活用・引用されているとは思えない。それで私は、京一中150周年という記念の年に刊行される同窓会誌『あかね』第58号に、これら書状の中身と要点を具体的にご紹介することにした。

1

村山槐多の実像を思い出として森安正氏に書き寄せたのは次の八氏である。

大井尚俊(旧姓高橋。京大法卒、裁判官を経て京都市助役、弁護士)、坪井靈二(京都絵専卒、高校美術教員。初め槐多と同級、病気で遅れ大正五年卒)、佐々木吉友(京大経済卒、興亜火災保険)、熊谷直之介(東大法卒、裁判官を経て弁護士)、池田光雄(啓明女学院高校教諭。神戸在住)、鈴木勝之侑(染色工芸家、難波宗治(学習院。元子爵、貴族院議員)、阪口保(神戸山手女子短大教授)。なお他に田中太郎(京大工卒、エンジンニア)氏が佐々木吉友氏の手紙中に答える形で語られ、難波、佐々木両氏は座談会にも出席された。大井、阪口両氏は槐多と小学校から同級で、槐多の横浜での出生、槐多の命名(名付親は森鷗外)の由来にも触れられた。まず最初に京都一中槐多入学(一九〇九年四月)当時の村山家の住所は京都市上京区相国寺・塔之段であったと、すぐ近くに住んだ大井、阪口両氏が証言。槐

多の父に当る村山谷助氏は山形県酒田の出身だが、東京千住の小学校で教えるうち、森鷗外の父森静男の医院の書生をした秋山力（槐多の母玉子の実兄）が同僚にいたことから、鷗外の三弟潤三郎の家庭教師を務めた。一方玉子は鷗外が最初の結婚をした家のお手伝いをした。この縁から槐多の父と母は鷗外家の仲立によって結ばれた。

結婚後、父谷助は横浜の東神奈川の小学校教員となり（槐多はそこで生れる）、中等（いまの高校）教員（地歴）免許を受け、高知県の師範などを経て、一九〇〇（明治三十三年）年京都一中の地誌科教諭となった。初め寺町荒神口上ル宮垣町に住んだが、槐多が銅駝幼稚園の前身の保育所を経て春日小学校に入り、間もなく小山大野町（現在北区）の京都師範附属小学校に転校するに及んで、一家は寺町今出川上ル五丁目西入ル桜木町に移った。すなわち塔之段桜木町一番地である。

すぐ近くに阪口の家も大井の家もあった。すぐ上（北）の鞍馬口通りを西へ行き、烏丸通りを越えて疏水端に出ると一つ目の橋の北に附属小学校があった。また吉田にあった京一中に入学期も、寺町通りを下って今出川に出、百万遍の寺への橋を渡れば、歩いて十数分の京大のそばに一中校舎があったのである。

附属小学校時代、槐多は常に成績は首席だった。知事の娘とともに級長もした。しかし、阪口と大井の記憶の中の槐多は悪戯がはげしく、四年生時分には女性教員の一人に唇が何かに似ていると言ってひどい仇名をつけ、終日立たされる厳罰を喰った。しかし高等科二年（いまの小学六年）の一中入学前の一年間、山下賤夫という兵庫の御影師範出身の訓導が担任となるや、徹底した放任教育によって槐多の才能は開花する。絵も好きに画かせた。夏休みに父の谷助に連れられて、京都一中の恒例の三重県津市の海岸での遠泳訓練を主とする一カ月の合宿に槐多も参加すると、一中生に伍して五十町（約六キロ）の遠泳試験に合格しただけで



三重県津海岸の遠泳訓練にて（1910）

なく、とても小学生が書いたとは思えない長文の「磯日記」もまとめ、この一編のちに『続・槐多の歌へる』（一九二〇年アルス刊）にも載せられた。「何でも思うままに描け、どこにでも描け」と山下訓導は槐多の絵の天分も伸ばした。山下訓導はのち大阪大手前の府立女専教授となった。

阪口、大井によると、槐多は小

学校最後の冬、梅の老木に登って遊んでいたとき、枝が折れて落ち、下の枝が下腹部に突き刺さる重傷を負った。母玉子はこの傷を見て「生涯不具になりはしないか」とオロオロ嘆いた。大井は「のちの一中時代の特異な振舞の遠因はあの時の傷にあったのでは……」と述懐している。

槐多の母玉子は美しい人だった、と友人たちは回想する。のちに夫の谷助氏の教員失職後、東京の神楽坂や横浜の弘明寺で花街の妓たちに長唄を教えた人であったが、どこか艶でもあった。日露戦争（一九〇三〜〇四）のとき（槐多小学二、三年）、谷助氏は「もしロシア軍が攻め込んで来たなら妻子ともども自殺する」ともらし、阪口、大井は妙な気がした由である。槐多はその場にいなかった。

2

京都一中時代、槐多がとりわけ画才を發揮したことについて、旧友たちは回想する。入学時も槐多は学業成績は優秀で、初めクラスの級長か副級長もつとめた。しかし土屋員安校長は操行を重んじたので、悪戯好きの槐多は操行（修身）「丙」となり、席次も下がり級長も失格した。その中学二年時、従兄で東京美術学校（現東京芸大美術学部）洋画科を首席で卒えた従兄山本鼎がフランスに留学することになり、村山家に寄って槐多の描く絵を見て「自分以上の才能だ」と驚き、絵具など買い与えた。パリに行つてからも槐多から自筆の絵葉書が届くたびに激励し「絵描きになれ」との返事を書いた。

一方、槐多が一中三年になった二学期の九月から、校長が森外三郎に変わる。東大数学科をトップで出て、京都の旧制三高（現京大教養部）の数学教授を勤め（京都一中の並びに校舎があった。森外三郎は京一中校長の後に三高校長にもなった）、学習院（現大学）教授を経てイギリスに留学、帰朝して直ぐ京一中に赴任した森校長は「今日から諸君を『さん』付けで呼びかけます」と宣言する。生徒たちを紳士扱ひするイートン、ハロー式の教育、自由を第一とする校風もここから生まれた。

槐多が喜んだのは言うまでもない。たちまち回覧の同人雑誌を創刊した。その名も『強盗』『魔羅』『孔雀石』『アルカロイド』『青色魔園』『新生』……次々と発行した。自ら題名をつけ表紙の絵も描いた。木版にしたのは友人の一人田中太郎である。

そして、その日常、槐多はどのように何を描いたか―美術の教師や工芸家になった旧友たちが証言する。

「一口にいえば絵の虫という感じでした。自分の気持を絵に描いてみなければ

おさまらない風でした。授業時間中も毛筆で何か描いていた。顔がいつも墨で汚れていた」(坪井)

「彼は四六時中頭に浮かぶものを即座に表現し尽くさずにはおれない。鉛筆、筆はもちろん、土でも泥でも指になすりつけ、地面であろうと壁であろうと何にも描く。教科書やノートはもちろん、隣席の友達のノートに裸の男と女、描きに描き一人悦に入っていた。一般の画家の歩むリアルからアブストラクト(抽象)そしてダダへ、なんてコースはとび越え、ついにカンパス上での表現に満足できず、自分自身を芸術表現の中に溶けこませ、灼熱の太陽の輝く孤島で、その情熱に燃えつくすんじゃないか、そんな気がしました」(鈴木)

「授業中、前の席の誰かが真つさらの制服を着ていたのを見ると、村山君はキャンパスに向かってデッサンでもやる調子で、その新調の服の背中に白いチョークで絵を描いた。しかも描かれた当人は気づかなかった」(池田)

「美術の加藤卓爾先生がある時槐多君の宿題に描いてきた課題の絵をとり出して、どうだ、ほかの人たちとは全然趣がちがうだろう、不自然なところも、こり固まったところも全然ない、なるほどこれは旨い、と思わないか、と称賛された。槐多君はそのとき居合わせませんでした」(田中太郎)

校内展に槐多のある人物像が出て、森校長にも絶賛され、学校保存となったのも中学四年ごろである。【注】この絵も行方不明。(題名は贋作の恐れがあるので記さない)

今出川通を上がって相国寺へ抜ける道に、著名な京大教授の家があったが、その白壁を少女像で描きつくしたのも槐多だった。そういえば、と難波宗治さんが座談会で語ったことも記しておこう。

槐多の塔之段の家近く子爵・難波家もあった。もっともそんな爵位なんて友達づきあいに関係ない。ある日の放課後槐多は難波の家へ遊びに行く約束をした。

難波は寄道して帰るのがおそくなった。帰宅してみると、槐多は難波の母に茶菓を供されてかしまっていたが、その広間の貼りかえたいばかりの白い襖の一面に、槐多は持ち合わせていたらしい墨汁と筆で袴姿の美少女を描いていたではないか。「伏見のあのひと」とも墨書していた。難波にも見覚えのある少女だった。賀茂川の堤を走る電車で荒神口の府立女学校へ通ってくる、その名は水室波子―伏見稻荷の神主の娘で、妹は後に朝日新聞の大記者で戦後リーダー―ス・ダイジェスト日本支社長、参議院議員にもなった鈴木文史朗夫人となった。難波は「そうか、槐多も惚れていたのか」と襖絵を咎めなかった。

そういえば槐多が一中に入ったばかりのころ、河原林愛之助という謹厳な漢文

の老先生が『日本外史』を講じた。槐多は教室に先生が入って来られるなり「先生、ホレるという漢字はどう書くんですか」と質問して老師の目を白黒させた。

3

相国寺塔之段の槐多の家の裏手には、京都一中で五年先輩の和辻春樹(のち京都市長。父は医家、哲学者和辻哲郎の従弟)の家もあり、界限に京一中の出身者・在校生が多勢いたので、相国寺会、さらには塔之段会という先輩、後輩、同輩の親睦の会もつくられていた。槐多も含めての会の集合写真等もあったはずである。相国寺と銘打っても「寺」に主眼があったのではない。それでなくても学校への往還に通る寺町通りには各宗の寺が立ち並んでいた。槐多もみんな校外スケッチで寺を描くものは皆無だった。寺や信仰にいわば食傷していた。

そして関東への修学旅行になると槐多の天下だった。生地横浜に近い江の島を訪れたときなど、千鳥ヶ淵にさしかかると、「ヤッタ」と叫んで断崖から淵にとび込み、抜き手を切って見せた。季節はすでに十月半ば(鈴木)。

槐多は中学生ですでに超人だった。

しかし家は零落した。槐多が京都一中に入る前年、父谷助は分校の京都五中(のち三中・現山城高校)に転勤となり、しかも先任者の教科書業者との汚職のあたりで冤罪を被り、失職したからである。教職一筋に生真面目に生きて来た谷助にとっても、それによって生計を立ててきた家族にとっても打撃である。一家はやがて塔之段の住居から、寺町今出川西入ル南側の肉屋の隣に移り、小間物屋を母玉子が開いた。槐多が一中三年のときで、小間物店の看板は彼が書いた。が、彼は家が商店となったことを恥じ、学校への往還以外は家の土蔵に閉じこもりがちになった。

それでも、森鷗外の実弟森潤三郎が勤めることになった府立図書館には、学校の近くでもあってよく通った。一年下級だった林達夫(のちファーブルの『昆虫記』ダンテの『神曲』などを訳す。評論家)がオクスフォード版のプラトン全集の到着を知って借り出しに行くと、一足先に槐多が借り出していて驚く。「ベルグソンの新しい哲学書も槐多は読んでいた」(阪口、林達夫)

それでいて卒業前の秋、校内長距離走があったとき、槐多は裸足で参加し、途中落伍しそうになった友達を担いで走り、三着に入賞した。(森安正談)

こんな日常で京都一中時代を過ごした槐多は、一九一四(大正三)年卒業すると、パリに遊学した画家小杉未醒(みせい)がたまたま山本鼎の机にあった槐多筆の絵を見て驚嘆したと伝え聞き、信州大屋の伯父の医家経由で上京して、田端の小杉氏宅に寄宿し、一気に画家へ直進する。その秋九月の第一回二科展に水彩画三点を出



『乞食と女』(1917)

して入選。しかも『庭園の少女』の絵を日本美術院の御大・横山大観が買い上げてくれた。横山大観と小杉未醒も加わる日本美術院の院生となった槐多は、翌年『カンナと少女』の絵で院賞を得、さらに二年後、熱烈に思いつめた着物モデル・お珠さんを念頭に『乞食と女』の名画を描いて二度目の院賞に。

画家の階段を一気に駆け登った槐多だったが、肺疾の上、一九一九年二月全国に流行したスペイン風邪をこじらせ、わずか二十二歳五カ月で生を燃え尽くしたように了えた。

× × × × ×

ここで残念なことを付言しなければならぬ。昨年(二〇一九)六月半ばであったが、愛知県岡崎市の美術博物館の旧知の学芸員M氏から「村山槐多没後百年展を開いているのでぜひ見に来て下さい」という留守電が入っていた。ならば見に行かねばと、数日後岡崎のメインの駅からかなり離れた場所の会場(岡崎子ども博物館)へ出かけた。

そして大変驚いた——というより呆れた。新発見とやら謳った『槐多京都時代(即ち京都一中時代である)』の作品」と称する作品が百点かそれ以上も何室かに置いてある。一目見ただけでタッチと言ひ、奔放・不羈の気韻も全くのゼロである。ことと言ひ、題材と言ひ、絶対に槐多が書いたはずのない作品が、槐多の作とされ、槐多等のサインまで入れて羅列してあるではないか。明らかに時代も異にする絵なら他人の作だよですむが、サインを入れれば贋作の非難を免れない。一目でそれだけのことかわかった。

たとえば日の丸のマークをつけた飛行艇が飛んでいる絵があった。槐多京一中時代の明治の年代まで付してある。冗談じゃない。日本の空に飛行艇が飛んだのは槐多が二月に病死してから七カ月後の一九一九年九月、フランスの航空将校が千葉県の飛行場に、第一次大戦土産としてもたらしたときである。槐多の中学時代の空に現れたとすれば、徳川大尉操縦の古めかしい双葉機でなければならぬ。

しかも深草の練兵場でその飛行機の「跳ぶ」のを見に行つた槐多と同時代の一中生によると「機は二百メートルほど走り、一メートルほど跳び上がって止まった」と記している。

M学芸員はカタログ代わりに会場に置いた自著の冒頭にこの飛行艇の絵を掲げ、「槐多少年の空を飛翔したい夢の表現」的なキャプションまで添えたが、その年代の中学生槐多は図書館でプラトンの哲学やベルグソンの生の哲学に高揚していたのだ。

さらにひどいのは、仁和寺のスケッチや苔寺の石庭の連作までも槐多作品として並んでいたことだ。これは京都の土地カンを見えたものなら、それらの寺の所在場所を考えただけで、槐多が描いたはずはない、と直ちにわかる。でなくても相国寺界隈に住み、無数の寺町通の古寺や、下鴨神社の糺の森の緑、そして四条大橋の夜景色にも親しんだ感覚、なんで遠い京の西の果ての寺や、石の庭に通つて丹念に写生したりすることがあるんですか。

その上父谷助が失職したのは、同じ西方の花園にあった学校だ。その方角は槐多にとつても近づきたくないタプーの方角だ。その上これらのスケッチや水彩にしても、画紙やキャンバス布を、友だちの書き損なって捨てようとした紙さえせがんで「呉れ」と言っていた槐多は、どうやって手に入れることができたのか。また仮に紙や画布に恵まれたにせよ、新発見・槐多作」とされた絵の群れには、内から突き上げるものによってしか描かなかつた槐多の、天才の片鱗もうかがえないではないか——。

私の以上の見解に異論があるなら、いつでも聞おう。私は東大美学・美術史学科のとくに大学院時代に、西洋美術の吉川逸治教授の、中世フランスの、寺院の瓦のかけら一片すら大切にされた学風に深く親炙したものである。また美学の先覚大西克礼教授がかつて訳されたゲオルク・ジンメル『レンプラント』も精読し、新しい芸術学の方法をもとり入れつつ、現代の美術思潮に対処している。日本の近代美術史の上で、一人の天折の天才として位置づけられて来た村山槐多に、後世の心ない営利のために、汚辱が残されること忍び難く、一筆書き加えた。それにしても学芸員M氏は、槐多は横浜市東神奈川生まれなのに、根拠のない岡崎出生説を流布してウイキペディアにまで誤認させるなど、今回の贋作問題も含め、その暴状は目に余る。

(作家、評論家)

※漢字など表記は原文のままとしています。

学年会・クラス会だより

京一中昭和十八年出身組有志の会 昭和18年卒

初夏恒例の集いを有志が集まってく

京一中昭和十八年出身組は、例年6月6日に円山公園「左阿彌」で同期会を開いてきたが、今年は自粛。そのかわり有志が6月5日(金)午前、母校 京一中洛北高校同窓会室に会した。集ったのは高月一、坂崎信之、稲垣真美。それに有志の意気を感じてか、洛北31期の熊谷かおりさんも特別参加。熊谷さんは祖父直清氏(鳩居堂十代社主)が大正11年京一中卒、父直好氏が洛北4期という、京一中・洛北一家である。

京大で電気を修めた高月は、他人の非を忘れる美德を旨としたか、過去はすべて忘却と恬然(てんぜん)。同じく京大で植物を修めた坂崎は、以前に恩賜京都植物園に植えた桜や樺を語り、熊谷さんは熱心にメモした。稲垣は岸田戯曲賞候補となった劇作上演の際、



作曲家の芥川也寸志氏(洛北高校校歌も作曲)から『竹取物語』を一緒にやろうと言われつつ、芥川氏早世で果たせず、ミュージカルに名のある熊谷かおりさんと出会って、新しいパートナーに選んだいきさつがある。場所を高木町の「福助」に移して、季節の鰻料理に舌鼓を打ちつつ時を忘れた。

(稲垣 記)

京都一中二〇四会三十八回総会 昭和20年卒

今年も景品つきカラオケ大会も!

「京一中二〇四会」は令和元年10月25日、例年通り京都ホテルオークラで挙行されました。ただし寄る年波で、参加者は去年の13人から11人と減りましたが、皆さん(男性は)90歳を超えているとは見えない元気でした。

小川昌平幹事の挨拶に始まり、杳水宏君の名司会で、3時間は友人の思い出話や今は亡き恩師たちを語り草に、走馬灯のようなひと時でした。昨年からの輪島君の提唱によるカラオケは、さらにブラッシュアップされており、今年は景品として、西谷提供の「水彩画」を、思い思いに選んでお持ち帰りいただきました。滅多に顔を出さない中岡哲郎君



が夫妻で出席されたので、3年前に描いた軽井沢の「堀辰雄旧邸」(写真)を贈りました。二次会は恒例で木屋町まで繰り出し、「高瀬川 流すはなしや 秋の暮れ」(いやーこれもへボ句で失礼! 小山や大和田などの諸氏が生きていたらボロクソに言われるところですよ!)



今年の秋も、コロナの第2波が来なければ、絶対やりましょう!

(小川・西谷 記)

京一中関東地区一二三会

昭和23年卒

「卒寿」をもって、「卒業」

この1月23日、浜松町東京會館に「最後の集會」ということで、写真の左から、武田忠治、魚木五夫、柳昭一、安田泰次、中島昇、北川浩一、田中郁三、故小堀鉄男長男の逸也君の8人が集まった。

この会の発足は、昭和50年頃だと思いが、新橋の第一ホテル地下のバーに何人か集まり、一中23年卒にちなんで「一二三会」と名付け、毎年1月23日に此処に集まろうと決めたのが最初だったと思う。その後、東京近辺の在住者や、しばしば上京する仲間を中心に関東地区の同期会として発足させた。最盛期には27人が集まったが、その後、定年を過ぎ関西方面へ戻った方、体調不良で出席を控える方、鬼籍に入られた方々が増え、出席者が減ってきた。この間、毎年30数人のメンバーに、欠席を承知しながらせめてもの交流の場と考え、開催案内と各氏の近況を記した名簿を送り続けてきた。

しかし、今まで通りに継続することが困難と考え「卒寿をもって卒業」ということで、ひとまず解散することにした。今年の集まりも戦中戦後の「一中生活の想い出を語り合い、和氣藹々のうちに名残を惜しみながら「比叡の峰」を斉唱し、またの機会を約して解散した。



(柳昭一 記)

洛一会

洛北1期

「洛一会」最後の集い

われわれ洛北1期生は昭和27年の卒業以来67年が経過し、同62年「洛一会」を結成、多くの方が幹事を務められて回を重ねてきましたが、みな米寿に近くなり今後この会が自然消滅することのないよう、寂しいながらも有志による「最後の洛一会」を、昨年10月に京都タワーホテルで開催しました。東は関東、西は広島・高知・松山から45人（男性28人 女性17人）が集まりました。

まず全員で集合写真を撮影、久保君の司会で始まり、物故者へ黙祷を捧げ、野々内君の開会挨拶に続いて小泉君の乾杯で開宴、そして近況報告。青春時代の友との再会は格別で、校歌斉唱まであつという間の2時間半でした。

その後、有志のみ地上100メートルの展望室に上がり、望遠鏡で遙か北方を眺めると懐かしの洛北高校の校舎が見え、全員感無量でした。旧友との再会は何よりの良薬、互いに「元氣」をもらって笑顔で帰路に就きました。なお、残念ながら欠席された方には、当日の写真や出席者名簿など今回の記録をお送りしました。来年の「京一中150周年・洛北高校70周年記念式典」でぜひお会いしましょう。皆さんこそぞってご参加ください。



※「洛一会」残金は同窓会に全額寄付させていただきます。ただきました。

(田室淳 記)

洛北高校もと2年6組クラス会

洛北9期

「洛北最高!!」と、再びのクラス会開催

平成の終わりの3月に1回、令和の始まりの11月に再び、と1年で2回ものクラス会を開催。78歳で60年ぶりに2回も集えるなんて「すごい!」「快挙!」「奇跡や!」と、皆で自画自賛しています。1回目より参加者は4人増え、東京から2人が駆けつけてくれて、にぎやかな宴会となりました。残念ながら、前回抗がん剤治療中の身でありながら満面の笑みと大きな声で盛り上げてくれた中嶋悌一君が、2回目を前に一生を終えました。

それにしてもみんな17歳に戻って、よくしゃべること、しゃべること。進行役としては收拾がつかなくて、なすがままに見ておりました。少年少女の幸せな時代を過ごせた洛北高校の校風に、感謝の声がたくさん上がりました。自由で楽しくて、名物先生のユニークな授業、休講も生徒の提案でオーケーだったり。いじめもなく縛りもなく「洛北最高!!」と皆で称えました。

この年になっても、しゃきつとして自信あふれる様子は、洛北時代に基盤ができていたに違いないと感じます。新型コロナに不安なこの頃ですが、大丈夫です、私たち。年寄りとは呼ばせない元気で傘寿を超えるまでクラス会は続けます。



(藤田 記)

第55回楽歳会ゴルフコンペ

洛北14期

「記念すべき(?) 記憶すべき」ゴルフ会

令和2年4月26日、今回の同期会ゴルフは、ある意味、記念すべき(?) 記憶すべきゴルフ会だ。世界中を震撼させている新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、政治・経済・生活・教育が一変している。わが家においても近くに住む3人の孫たちが、毎日のように遊びに来て大変だ。学校はいつまで休みが続くのだろう。スーパーでの買い物も約2メートル離れるというルールも仕方ないことだと思ふ。

そんなさなか、ゴルフコンペは各メンバーが、広い芝の上で距離をあけてプレーするのだから問題ないだろう、ということで開催した。滋賀県甲南町のセンチュリーシ

がGCで行っている楽歳会ゴルフコンペも、今回で55回目になる。毎回「どこへ打てばよい、どこへ打ってはいけない」と知りつつ、「打ってはならない、入れてはならない」バンカーへとボールは飛んでいく。『なぜだ?』の自問自答ばかりの反省を繰り返している。

次回はさらに、心おきなく集まれることを願うばかりである。

(三島康之)





兎龍(とりゅう)会

洛北19期

重ねて4回、楽しく広がる「兎龍」のワツ!

第4回兎龍会を令和元年9月7日(土)、京都ガーデンパレスにて開催しました。52人の出席で京都府外からは22人(海外1人)でした。皆さん遠くからのご出席、有難うございました。

食事が始まったとたん、多くの方が席を立たれてあちらのテーブル、こちらの席へと移動を開始。メインディッシュが終わる頃には、元の席についている方は半数に満たないほどでした。両親の介護や孫の話題をはじめ自身の病院通いやペットの自慢話に至るまで、多くの情報交換がなされたようです。ビンゴゲームでは豪華景品(?)をゲットしていただきました。二次会も同ホテル内で開催。半数以上の38人が参加し、カラオケで大いに盛り上がり、大変楽しい時間を過ごすことができました。感謝、感謝。

(第4回幹事 蔣池信男)

入会ご希望の方は、蔣池(こもいけ)信男
(nkomo02@yahoo.co.jp
TEL 080-3039-1117) まで。

洛北高校第30期第7回同窓会

洛北30期

「輝けアラ還! ~まだまだ現役だ~」

R30同窓会は、令和2年1月4日土曜日、京都タワーホテル・飛雲の間で開催され、主賓の沼田雅夫先生をはじめ、100人を超える懐かしい同窓生が集うことができました。

一寸先は闇。まずは数人の物故者の黙祷にて始まりましたが、続くメインテーマの「輝けアラ還!」のコーナーでは、元気に走り続けるマラソンランナー、母校のサッカー部の監督として全国を目指す者、仕事の傍ら今も現役ミュージシャンとしてステージに立つ者など、「アラ還同窓生」のビデオを見ながら、和気あいあい楽しい酒宴となりました。

R30同窓会にご出席いただいた皆様、コロナ前の貴重な再会に改めて感謝申し上げます。R30同窓会、次回はいよいよ選暦開催です。元気に再会しましょう。

(松尾浩正)



洛北67回卒業生同窓会

洛北67期

卒業後初めての同窓会を開催

洛北67期1・2組（中高一貫コース）の同窓会が令和2年1月11日（土）18時から、京都タワーホテルで行われました。参加者は総勢80人を超え、盛大な会となりました。

会には、附属中学校と高校でご指導いただいた矢野先生、中野先生、柳沢先生、千歳先生、藤岡先生、上間先生、中谷先生、増山先生と、たくさんの先生方にご出席いただきました。また、佐々木先生からは素敵なメッセージを賜りました。

会の前半は一人一人が近況を報告し合い、なかなか知ることができない皆さんの「今」を知る良い機会となりました。先生方からは在学中の懐かしいお話をたくさんしていただきました。とりわけ中学時代のお話には、忘れかけていた思い出がよみがえり、会はさらに盛り上がりました。

その後フリートタイムでは参加者同士が交流を深め、めったにお話しできない先生方ともお話ができ、皆さん和気あいあいと楽しんでいる様子でした。あつという間に時はすぎ、全員で記念写真を撮影して閉会となりました。恩師の皆さま、この度はお忙しい中をご出席いただいて本当にありがとうございます。また皆さんとお会いできることを願っております！

（文責 幹事代表 古村恵里）



みのり会（洛北6期）
開催延期のお知らせ

この春以来、新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大防止のため、東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする多くのスポーツイベントや行事が、延期・中止となり、無観客開催などの自粛が要請されています。6月に開催すべく会場を予約しておりました「みのり会総会」も、新型コロナウイルスが沈静化し、収束宣言されるまで延期しなければならぬと判断しました。大変残念な思いですが、とりわけ高齢者が感染すると重症化・重篤化する確率が高いといわれています。何とぞ状況をご賢察いただき、ご了解いただきますようお願い申し上げます。

会員の皆さん、手洗い・消毒・うがい・マスクをし、不要不急の外出を控えて感染予防に努めてください。新型コロナウイルスが一日も早く沈静化し、事態が収束することを願っています。

（令和2年3月作成 平岡猛男）



お出かけにも、集まりにも
便利な祇園四条。
心がなごむロシア料理を
お楽しみください。

同窓会・クラス会など、お気軽にご利用ください。
鴨川を見渡せる55席のメインダイニングに加え、
14名様・30名様の個室もご用意しています。
夏期は屋上ビアガーデンもお楽しみください。

レストラン

キエフ



〒605-0077
京都市東山区縄手通四条上ル鴨東ビル6F
TEL (075) 525-0860 FAX (075) 525-0810
ホームページ <https://restaurant-kyev.com/>

社長 加藤 幹雄（洛五）
代表 加藤 智恵子（洛五）

東海支部

令和元年東海支部総会・懇親会を開催 世代を超えた同窓の繋がりを継承

令和元年2019年の同窓会東海支部総会・懇親会は、9月14日に名鉄グランドホテルに本部から河原常任理事にも出席を頂き、京一中昭和22年卒から洛北高校44回卒まで、総勢21人の参加を得て開催されました。例年通り本部からの報告、京一中150周年洛北高校70周年記念式典の案内のあと、食事をしながら出席者それぞれの近況報告と続きました。そんな中で2020年10月の記念式典・祝宴には東海支部有志を募って参加すべしとの意見も出て、式典前日には京都に宿を取り、一泊して出かけようではないかというところまで意見がまとまり、早々に宿の予約をすることとなりました。

明けて2020年、そろそろ春の食事会の段取りと秋の記念式典出席の計画に取り掛からねば、と考えていた矢先にこのCOVID-19騒ぎ。記念式典も来年延期を前提に開催見送りとなり、残念に思う反面、仕事をしなくて良くなったという、学校に着いたら先ず休講の掲示を見に行くのを日課にしていた、遊び至上の性格が出てしまうのであります。

東海支部も、昭和34年に第1回の会合が開かれてから61年。やむを得ない事情で開催されない年もありましたが、新幹線もメールもない時



代に京都と連携しつつ会を立ち上げ、運営されてきた諸先輩の気概を思う時何とか継続させていきたいと考えます。

同窓会に対してはいろいろな考え、思いをお持ちの方がいらつしやるでしょう。同期会やクラス会ならば、同好の志だけなら……。それも楽しいでしょうが、同じ場所、同じ校舎で学んだ(遊んだ)、年代を超えた繋がりも大切にしていきたい。諸先輩の経験談、後輩との歓談は、必ずや人生の糧となってくれるものと思えます。支部の会合に、京一中150周年洛北高校70周年記念式典に、こそってのご参加をお願いする所存です。

(洛北18期 香西 朗)



関東支部

※令和2年度から京浜支部が関東支部に改称されました

健康セミナーや型絵染め体験など 盛りだくさんに「2019東京の集い」

2019年9月10日の洛北倶楽部では、ニューヨークから一時帰国の上野千津子さん(洛23)に「NY州弁護士事情・弁護士の利用の仕方」と題して講演をしていただきました。上野さんは米国の法律事務所で働く弁護士で、仕事の中心は会社の買収や合併契約、雇用問題など。ユーモアたっぷりに難しい話を分かりやすく話され、質問もたくさん出て盛り上がりました。

2019年度の「東京の集い」は、12月7日に住友会館にて開催。京都本部の高坂節三会長(洛4)、三島康之理事長(洛14)をお迎えし、総勢110人が集いました。今回も代表幹事(洛15)、会場設営(洛23)、司会(洛30)、受付会計(洛34)と、幹事団は四世代協力体制です。総会では田中均支部長(洛14)の挨拶の後、川谷事務局長(洛20)から会計報告と「関東支部」への名称変更が発表されました。

懇親会は、増戸さん(洛15)による乾杯挨拶、スイスから一時帰国の早藤さん(洛30)の司会で和やかな楽しい時間。立食ではなく、初めて全員が円テーブル着席となり、落ち着いて食事や話ができたと好評でした。イベントは京都から2人の先生をお招きしました。坂口久美子さん(洛38)による「姿勢・歩き方の健康セミナー」では皆で一様に体を動かし、歩く姿勢の3つのポイントを楽しく学びました。また日本画家の伊砂正幸さん(洛33)に



は「京型絵染め」コーナーを懇親会会場に設営していただき、多くの方にスケジュール帳オリジナルカバー作りを体験していただきました。

展示コーナーには会員持参の10件以上のイベント案内状などが置かれ、思い思いのコーナーに会員たちの輪ができて、にぎやかな集いとなりました。

2020年はコロナ禍で支部活動が止まっているため、総会は臨時に幹事会で開催。今年の「東京の集い」は中止とします。2021年の開催を目指し、準備を進めます。

関東支部(旧京浜支部)から過去一度もメールが届いていない方は支部のホームページ(<<https://rakuhoku-highschools.com/>>)からアドレスを登録いただくか、同窓会関東支部メール<rakuhoku.hsk@gmail.com>へお知らせください。



北海道支部

「北海道」命名150年、京一中と同世代

北海道が、蝦夷地の探検者松浦武四郎の原案「北加伊道」に基づき「北海道」と命名されたのが明治2年、一昨年はその命名150年にあたり、今年150周年を迎えた京一中との歴史の縁を感じます。

学校創立から遅れること94年、北海道支部は1964年（昭和39年）7月、今もある狸小路2丁目のサッポロビール直営店に17人が参加して産声をあげました。「あかね」第2号にその模様が載っています。初代支部長は、長尾正人北大農学部教授。事務局も北大内に置かれました。現在、支部会員は約70人。京一中卒は90歳代のお二人で多士済々の人材を誇ります。雪氷学の中谷宇吉郎さんに師事し、雪氷学をさらに発展させた樋口敬二さんは残念にも一昨年亡くなりましたが、専門の地質と山登りが縁でヒマラヤ・ネパールにあるポカラ国際山岳博物館初代館長を務められた安藤久男さん（洛北1期）をはじめ道内各分野で活躍中の方が大勢おられます。



白老町に新設されたアイヌ文化の復興と発展の
ナショナルセンター「ウポポイ」全景（北海道新聞社提供）
※今年オープン予定

支部では個人情報保護の関係から卒業生の動向を把握しきれませんので、洛北高校から北海道の大学に入学した人、道内に転勤になった方などがおられましたら、ぜひご連絡いただきましたと思います。

（洛北8期 丸谷和豊）

東北支部

東北支部同窓会はただいま開催延期中

昨年の秋に東北支部長をお引き受けしました。先輩方に相談し、春から初夏にかけて新緑輝く時期に、東北地区の卒業生の皆さんに集まっていたく機会を、と計画していました。しかし新型コロナウイルスの感染拡大時期に重なり、集まる機会が設定できないまましばらくお預けになっています。

例年だと4月上旬は花見客で大変混雑する花見の名所も、写真のように提灯が飾られることもなく屋台も全く出ないまま、静かに花が散っていくという経験のない寂しい光景となりました。しかし幸いなことに、東北地区は感染者数が比較的少なく、100万都市仙台を擁する宮城県でも4月29日に最後の感染者が出て以降、1カ月以上新たな感染者は現れていません。岩手県に至っては全く感染者が報告されなまま現在に至っています。なんとかこのままコロナウィルスの脅威が収束することを願ってやみませんが、今後、経済活動の再開に伴って第2波に見舞われる恐れもあります。

いつ東北地区の卒業生の皆さんとお会いできるようになるのか判断が難しいところですが、近いうちに集まりが開催できるものと信じて、今はおとなしく過ごしているところです。

（洛北24期 澤田恵介）

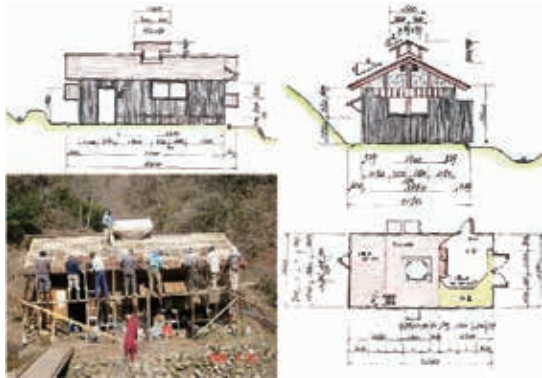


●北山の会(京都一中・鴨沂高校・洛北高校山岳部OB会)

日本山岳会の会員番号482は最古参

京一中山岳部は1915年の創部で、同時に日本山岳会会員となりました。日本山岳会は日本ではじめての山岳会で、当時の一中生が堂々会員に名を連ねていること自体「リスベクト!」です。最近事務局と連絡するうち北山の会が引き継いでいるその会員番号482は最古参であると判明しました。現在新入会員の番号は16000番台で、一桁、二桁台はなく、三桁台は2件あり、北山の会が最古参というのです。100余年にわたって諸先輩が山岳界に果たした足跡の大きさに感動するばかりです。

また北山奥深くにある山小屋「北山荘」は78周年。このたび詳細な現状実測図が作成され、日本で数少ない山小屋の中にあつて、山小屋建築文化史上も貴重な存在であることが再認識されました。測量した鴨沂高校山岳部OB坪内秀泰さんは次のように述べています。「隠れて見えない基礎も壁も屋根の地下も、緩みのない仕事がしてある。それが、いつ誰が訪れても感じるこの北山荘の持つ気品、上品さを醸しだしている源泉である……」



写真は2009年の屋根葺き替え

●新聞局局友会

局友会延期も記者魂は不滅、スポーツ記事二題

陽春の京都、京都御苑西のホテルで新緑を眺めながらの例会も定着してきた局友会だが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となった。

今回は、往年の洛北高校新聞の記者魂が触発された話題を二つ、ご紹介する。府立4校戦が延期、号外「甲子園で勝利」も幻に

京一中ほか旧制中学4校の伝統を継ぐ府立洛北・鳥羽・山城・桃山の4校野球部OBは、平成28年から対抗戦を開催し親交を深めてきた。令和元年に当たる昨年、ついに憧れの「甲子園」で親睦試合を挙行する運びとなった。このニュースに色めき立った局友会会員は、早々と「洛北高校OB甲子園で優勝!」「準優勝!」など、母校栄冠の見出し輝く号外発刊を考える前のめりぶり(全敗は想定せず)。10月29日の試合当日、意気揚々と甲子園球場に駆けつけたが、予報通りの悪天候となり残念にも試合は中止。意気消沈して夢の甲子園を後にし、久々の号外発行のもくろみも幻となって消えてしまった。



平成21年10月発行の前の号外、「あかね」第47号追頁

戦後初の野球大会は京都の旧制中学だった

5月27日付の毎日新聞「余録」に、終戦直後の京都の旧制中学9校野球大会の記事を発見。全国に先駆けて8月に開かれた戦後初の野球大会だったという。洛北高校川口靖夫講師(地歴)によると、当時府立京一中・二中・三中の野球部は、9校中の中軸的存在ではなかったかとのこと。4校対抗戦の前史の大会とも言え、改めて京都の先進性に刮目したのであった。

● 洛北スキーOB・OG会

ウィズ・コロナでも「親密」の密は変わらない

思い起こせば、今年の「スキー合宿」は、日本にコロナ禍が初めて押し寄せた令和2年2月3日、クイーン・エリザベス号の横浜寄港の日と偶然に重なりました。(スキー合宿の予定は一年前の合宿時に決められていました。)

出発前の1月末に京都で開いた恒例の壮行会では、約10人がマスクもせずレストランに集まり、大声でランチを楽しみ、まことに密集・密閉・密接の三密そのものでした。当然、その時点では合宿の予定変更を言い出すものは誰もおらず、誰かが「なーに死なばもろともだ」と言ったとか言わなかったとか。それでも、京都から信州までの自家用車を提供・運転していたいただいた9期生のM先輩は、車中の感染を心配し、お手拭きやティッシュまで用意された気配りは流石でした。

肝心のスキーは、予想していたとは言え、いつもの岩岳スキー場は雪不足でできず、隣の白馬八方にゲレンデを移しての実施となりました。東京勢と関西勢合わせて11人と例年より少人数でしたが、初めての参加者が増え、来年の再会を約して2泊3日の合宿を終えました。来年の合宿がどのような形になるか分かりませんが、三密は避けても「親密」の密だけは変わらないことでしょう。

副幹事 櫻井 建(洛北10期)



● 京一中・洛北高あかねゴルフ会

伝統を継承しつつ縦横の交流を深めています

京都ゴルフ倶楽部舟山コースを会場に、令和元年度は6回のコンペを開催。12月には年間を総括する納会をもって締めくくり、そして来年度の例会開催予定日(7回)を確認いたしました。

長い間「あかねゴルフ会」を盛り上げていただいた、岸田貴夫大先輩(京一中昭和18年卒業)や濱吉郎・藤田洋の両氏(同昭和20年入学)の退会もあって、京一中卒業のメンバーが不在となり寂しい限りですが、今日までご指導いただいた良き伝統を、これからも会員の皆さんと想いを一つに、しっかりと継承し発展させたいと念じております。

参考までに、令和元年の参加者は延べ156人(1回平均26人の参加、年間6回の皆勤者は14人)の実績です。

現在、若手会員は洛北11期の4人で、会員数は33人と、空きがあります。希望としては11〜17期の方を迎えたいと考えています。入会ご希望の方は、同窓会事務局までお尋ねください。同窓生のご入会をお待ちいたします。

あかねゴルフ会 会長

世話役 小林大二・武田健一(洛北7期)

波多野元三郎(洛北3期)



四季の移ろいを感じ、
名湯と美食
を愉しむ贅沢

おとろい 湯
温泉あふれる水都の宿

びわ湖 花街道

〒520-0101
滋賀県大津市雄琴 1 丁目 1-3

お問い合わせは
下記フリーダイヤルにお気軽にどうぞ。

0120-051041

佐藤良治(洛7卒) 廣田量子(洛10卒) 北出紀子(洛12卒)
(旧姓 佐藤) (旧姓 佐藤)

お知らせ 洛北バスケットボール部
OBOG会 各位

この度 OBOG 会の開催を 12 月に計画して
おりましたが折からのコロナの蔓延と第二波の
予兆が見られるため
来年度以降に延期を決定いたしました
皆様には期待をさせてしまい申し訳ありません
でした。来年度以降での仕切り直しを
検討しております。

「あかね」次号にも掲載予定ですので、
よろしく願いいたします。

OBOG 会開催幹事 一同

連絡は 洛北27期 河野 量
ryokono1959@yahoo.co.jp まで

焼肉・キムチ工房
南山 比叡平店
(洛22 孫 卓文)

〒520-0016
滋賀県大津市比叡平 3-36-1
☎077-529-0573
✉shigananzan0573@gmail.com

焼肉とや
いちばん

営業時間: 18時~23時
京都市左京区一乗寺北大丸町51
電話: 075-721-6937
サッカー部OB(洛25)

業務用酒類販売
なおかつ

ご縁にカンパイ!!

株式会社 なおかつ
〒606-8101 京都市左京区高野蓼原町65
TEL: 075-781-3495 FAX: 075-701-9020
http://naokatsu.com/

下鴨 塩見家 SHIOMIYA
http://www.403tonton.com
(ネット予約可)
塩見家店主 塩見 聡朗(洛31期)

吉野家ダックス がこの場
さん さん
山本新造
P4台車
京都市左京区下鴨本町28-9
TEL 075-744-1332

中華メニューを豊富に揃えたラーメン店
ご宴会、コース料理承ります!

shiomiyatonton 403tonton

<営業時間> 平日 11:30-15:00 / 17:30-22:30
土日祝 11:00-22:30 (定休日) 木曜日 ラストオーダー 閉店30分前

漢検



文章検



高坂節三

(洛北4回卒)

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

代表理事 会長兼理事長

漢検 漢字博物館・図書館 館長



マグロ酒場ほんじょ屋：JR 錦糸町駅 南口 徒歩1分 (JRA 向い)



モスバーガー住吉店：都営新宿線・半蔵門線、住吉駅A3 出口すぐ

モスバーガー亀戸店：JR 総武線 亀戸駅 徒歩2分

牛角錦糸町テルミナ店：JR 錦糸町駅 南口 徒歩1分

牛角江戸川大杉店：環七通り、大杉2丁目交差点 (駐車場30台)

もつ焼き横丁ニシキ屋：JR 錦糸町駅 南口 徒歩2分



株式会社 ダウンタウンフーズ

代表取締役 森田 正 (洛北22回卒)

〒136-0073 東京都江東区北砂3-4-33-506

TEL：03-3646-2232 FAX：03-3646-2236

E-mail：downtown@cl.cilas.net



あたらしいふつうをつくる。

荷物を送られるときは、お電話一本で集荷にまいります。

0120-950-333

左京郵便局まで

郵便・貯金・保険のご相談は、こちらどうぞ

075-781-9774

京都高野竹屋郵便局まで

ご自宅^で、京都銀行を^{ご利用いただけます!!}

口座
開設

残高
照会

振込
振替

投資信託
外貨預金



まずは
ダウンロード▼



京銀アプリ



京都銀行 下鴨支店
TEL.075(721)2211



紹介者

中村 繁夫
(洛北15期)



園部 平八 著
(洛北15期)

『京料理人、
四百四十年の手間
「山ばな 平八茶屋」の仕事』

反骨、進取の気、いちびり、が京一中・洛北高校の校風である。京都人の東京に対する「反骨精神」は根深い。「進取の気」は、京都企業に必要な精神で「いちびり精神」も京都的な感性だ。というのも洛北時代の園部君は反骨、進取、いちびり精神があったが、この著書を読んで彼のイメージは激変した。外から見ると平八茶屋は440年も続いた老舗料亭なんやから、伝統に守られた「平八」の経営は楽勝やと思っただが、「世の中は甘くない」のが、よく分かった。伝統の料理人になるというのは大変な我慢が必要なのだ。

つまり彼は、洛北を卒業してから幾つかの逆風に晒されて本来の職人魂に染まったのだ。その結果、反骨精神が意固地に変質した。進取の気も、元来の負けず嫌いの性格が幸いして、老舗の名を汚さないように古くて新しい経営に精を出すことになった。いちびり精神は職人の世界には馴染まないから、本来のヤンチャさが影を潜めて、実力と感性と才覚が表面化したのだ。料理人は味覚が鋭く豊かでないと一流にはなれないが、感性も才覚もまた天性のものである。丁稚修行を終えて実家で仕事をしはじめたら、先輩の料理長との闘いが待っていた。先代が病気がちなのを良いことに、使用人が傍若無人な態度になり始めたのだ。まさに440年の伝統の危機に遭遇することになった。

自分の信ずることを貫こうとし容易に人に屈服しない強い心は、ラグビーと空手道で培ったとみる。この本のテーマは意固地、気骨、人間力と才覚である。

発行所 岩波書店
本体 1,800円(182頁)

紹介者

毛利 勝一
(洛北17期)



松葉 知幸 著
(洛北18期)

『ヤドカリ考
【森羅万象小考】』

「ヤドカリはエビの仲間である。(中略)貝殻の中にある部分は、巻貝に合わせるとため湾曲し「甲殻類」であるのに甲殻がほとんどなく柔らかい。どうしてこんな生物ができたのか。」と、始まる本書。衝撃の問題提起である。

著者は剣道部の後輩である。剣道部在籍といえは、がさつな猛者を想像されるかもしれないが、大学では美術部在籍というだけあって繊細な感覚を持った後輩であった。数年前、大阪弁護士会会長、日本弁護士連合会副会長を歴任した後に、温めておられたメモや文章を整理したのが本書である。序文で著者は書く。「関心の赴くまま、いろいろの分野の書物を渉猟してきた。関心の原点は10代後半に感じた悲しみ、この世の理不尽、無常なかもしれない。」と。そして次の文面で序を閉めた。「ヒトが少しでも幸せに、継続的に生きることが出来る生物になることを願って。」

本書は、著者の考えの結論部分を集めたものである。第1章「ヤドカリ考」から始まり、第2章「欲求考」第3章「言葉考」と続き、第7章「幸せ考」で終わる。ヒトが生きている「環世界」と他の生物が生きている「環世界」との大きな違いを指摘し、ヒトが伝統的に繁栄できる、少しでも幸せになれることを考えさせられる良書である。

著者の松葉さんは本誌の「集う・学ぶ・味わう」欄で紹介の「関活洛有会」のメンバーでもある。闊達な議論と活発な交流も楽しみである。

発行所 清風堂書店
本体 900円(207頁)

紹介者

今西 拓人
(洛北33期)



原田 博行 著
(洛北35期)

『音楽で生きていく 11の方法』

原田博行さんは、京都を拠点に活動しているシンガー・ソングライターだ。京都市の円山公園音楽堂で「ハラダイス」と題した音楽イベントを開き、「サウンドロゴ」という独自の手法で企業のCMソングの作曲も手がける。一方でキリスト教の教師として高校の教壇に立つ。

本書は音楽を仕事にしたいと考えている人に向けて「1位をとれるものを3つもつ」「コンプレックスは最強の個性」など、目指す道を歩き続ける11のヒントをつづっている。主張は「音楽を目的にしない、手段にする」と題した第1章に明快だ。初めて曲を作った時に「音楽に乗せてメッセージが伝えられる」と感激し、音楽を生涯の仕事にしたいと考えた。

しかし、音楽は「自分の人生を意味づけるためのもの」「音楽を失ってもメッセージを伝えるために別の方法を探す」と言い切る。まず伝えたい思いがあり、伝える手段が音楽だということ。教師であることも「メッセージを発する点で一貫性がある」「歌より伝わる可能性がある」と明かす。説いているのは、やりたいこと、どんな人間になりたいか、を決定めることの必要性だ。それが見つからない読み手には「他の人が評価しなくても『いい』と思う感受性を開いておくこと」「共感されない孤独のトンネルの向こうにやりたいことが広がっている」と背中を押す。「音楽」という言葉を別の仕事に置き換えて読み進むこともできる。自分を見つめ直すきっかけともなる一冊である。

発行所 ユニオン・エー
本体 1,200円(165頁)

紹介者

梅棹 レオ
(洛北50期)



梅棹 忠夫 編
(京一中昭和11年四修)

『知的生産の技術』

著者の梅棹忠夫は僕の祖父である。90歳まで生きた祖父の著作は膨大だが、その中でも1957年に『中央公論』に掲載された「文明の生態史観序説」は論壇や学界で大きな話題となった。一方で取り上げる1969年に出た岩波新書『知的生産の技術』は広く一般に知られるようになった。二つの著作で祖父を知る人も多いに違いない。

祖父は整理魔で、学者仲間をも驚かせたそう。そんな祖父と京大出身の先輩、同輩とで築き上げた整理術、資料活用術を開陳したのが本書である。象徴となった「京大式カード」というB6判カードとともに世間に知られ、祖父の代表作となった。アナログ時代の情報の整理・活用の方法論だが、コンピューター時代の現在も読まれているという。

そんな技術だが、わが家にそれほど伝承されてはいない。洛北高校在学中の僕などは「京大式カード」に親しむどころか、「梅棹忠夫の親族」と話題になるたびに逃げ回っていた。僕が2歳のとき祖父は失明した。思い出す祖父は、手探りでお酒を見つけ、祖母に怒られている姿だ。亡くなる直前に忘れられないことが起こった。僕に長女が生まれ、初めての曾孫を連れて行くと、それまで寝たきりだったのに「抱かせてくれ」と起き上がったのだ。

実は、今年には祖父の生誕100年、没後10年にあたる。初代館長を務めた国立民族学博物館では、9月3日から祖父の「知的生産の技術」をテーマに記念の展覧会が開催される予定である。

発行所 岩波書店
本体 840円(254頁)

※梅棹忠夫生誕100年記念企画展「知的生産のフロンティア」
2020年9月3日(木)〜10月20日(火) 国立民族学博物館(大阪府吹田市)

恩師を偲んで

金森光昭先生、ありがとうございました

梅木智恵
(洛北20期)



金森光昭先生(国語)
令和2年4月20日ご逝去
(享年89)
在任/昭和36年4月～
55年3月

いかにも東京の人、な

んだかまぶしいというのが
金森先生の最初の印象
でした。私は病気で落第

をし、2回目の1年生を、
金森先生に担任としてお

世話になりました。自己
紹介の折、「私は皆さんよ

り一つ年上です」と話した後に、先生は「病気でね」と付け足してください、緊張がほぐれたのを覚えています。年上だからか、私のことを先生は、「ちえさん」と呼んでくださり、クラス仲間もいまだに「ちえさん」です。年上の私を孤立させないよう、温かく包み込むようにしてくださいました先生のお心に感謝が絶えません。

2年前の同窓会にご出席くださり、当時、病弱だった私に「空気の良い土地への引越しを勧めたよ。家まで車で送ったこともあるよ」と昨日のように話してください、びっくりしました。ほとんど覚えていなく、自分のことでは精いっぱいだった若かった自分で、申し訳なく思ったことでした。先生の現代国語と古典の授業は、楽しかった思い出がたくさんあります。先生のされる発問もここぞという時にされ、授業の核心をつかめた気もしました。微妙な男女の愛情や、人情の深さのような人の機微に触れる人生勉強のような感覚もあり、楽しく緊張感もあった授業でした。

金森光昭先生、いつも優しく、大きな先生。89年間しっかりと生き抜か

れたこと、改めて尊敬しています。どうぞごゆっくりお休みください。ご冥福をお祈り申し上げます。

(旧姓 谷口)

物理準備室と先生

鍛治ちか
(洛北50期)



堀江成人先生(理科)
平成26年ご逝去
在任/平成10年4月1日～
13年3月31日

堀江成人先生の訃報にただただ驚きながら、この文を書かせていただいています。

入学式、緊張して着席する私たちの前に立ち、教壇で「僕もこの春新しく着任したので君たちと同じ洛北1年生です」と挨拶されたことをずいぶん時間がたった今、意外なほど鮮明に思い出します。先生は親しみやすさもなく、気軽さも気さくさもない、ともすればとつきにくくて気難しい「生徒に囲まれることのない」タイプの先生でした。冗談の一つも言ってくれないし、むしろ苦い顔をして「勉強しろ勉強しろ」と言われていた記憶がありません。ホームルームでは、毎日お小言ばかりだったような気さえします。

真面目に勉学に励むクラスメイトがほとんどの中、出席時数を数えてはあと何回サボれるか、なんてことにばかり熱心だった私は先生に「好かれ」物理準備室に何度呼ばれたことでしょうか。先生とお弁当を食べたこともありましたね。面倒くさそうに私の話を聞いては「身に付けた知識と経験だ

京に生まれ育って190年

わざ
伝統の技が輝く…京仏壇・京仏具

夕に感謝 朝に礼拝

お仏壇・仏具はやっぱり

(株) 若林

取締役相談役 若林 卯兵衛(洛北十回卒)

本社 〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入 ☎(075) 371-3131(代)

東京支社・築地店・札幌店・仙台店

各種撮影・学校アルバム制作

日本カラーフォトスタジオ株式会社

代表取締役会長 伊藤正博 代表取締役社長 永田淑子

☎ (075)811-7272

卒業アルバムから式典写真、集合写真、ドローン撮影まで。
写真に関わることならなんでもご相談下さい。
写真のプロフェッショナルが人生の大切な瞬間を写真に残します。

本社：〒615-0093 京都市右京区山ノ内宮前町 5-7
滋賀営業所：〒525-0067 草津市新浜町 553-4-202

「自分が自分を助けるんです」とお小言を仰しゃっていた先生。高校生の私にとつて、廊下のどんつきにあるあの部屋は、ノックしたくない扉でもありました。飽きるほど聞いた先生のお小言をそっくりそのまま、ことあるごとくに口にしてしている自分に気が付くのは、少し時間がたって、少し大人になつてからです。

あんなに真つすぐ「勉強しなさい」と言い続けてくれた大人は、先生の他にいません。恩師と聞いて一番に浮かぶのは、仲良しだった先生でも面白かった先生でもなく、苦い顔をして教壇から私たちを見ている堀江先生なのです。先生に褒めてもらう機会は、この先まだまだあると思っていました。物理準備室で美味しくもないインスタントコーヒを飲みながら、また先生と話したかったです。飄々として、生徒から嫌われることを厭わない先生でした。そして私たち生徒を大人扱いし、少し離れたところから見守ってくれた、厳しくて教育熱心な先生でした。

さみしいです。心から、心からお悔やみ申し上げます。

京一中

◇須田英雄先生(理科助手)
令和元年5月ご逝去
在任…昭和12年9月20日～16年3月31日

◇岡本憲一郎先生(図画)
令和元年ご逝去
在任…昭和21年6月30日～23年4月1日

洛北高校

◇増田 潔先生(社会 講師)(享年87)
平成30年9月6日ご逝去
在任…昭和28年～30年3月

◇五十川敏男先生(体育)(享年85)
令和元年8月17日ご逝去
在任…昭和46年～55年3月

・定時制
◇芝田徳造(体育)(享年93)
令和元年12月ご逝去
在任…昭和34年～53年



五十川敏男先生

集う・学ぶ・味わう

京一中洛北クラブ

(奇数月第3土曜日、聖護院御殿荘 ※変更あり)

コロナ終息後の再開を待望して

卒業生やゆかりの方を講師に迎えて、専門領域のお話を聴き、参加者で食事をいただきながらゆっくりと歓談する2カ月に一度の集い。昭和5年5月21日に始まり、平成を経て令和に至るまで90年余にわたって継続してきた意義ある集いも、本年ついに新型コロナウイルス感染症のために第532回目で休止となりました。前号報告からの講演実績は左の通りです。一日も早い感染症の終息と会の再開が待たれます。再開については同窓会HPなどでお知らせいたします。引き続き、今後の講師のご推薦をよろしくお願いいたします。

第529回 令和元年9月21日

「『京都中華』誕生の歴史」

講師 武田淳一氏(洛11)

第530回 令和元年11月16日

「平成・令和の若者たち―デフレ、少子高齢化、スマホとSNSの世界に生きる彼ら―」

講師 寺井さち子氏(洛16)

第531回 令和2年1月18日

「着物よもやま話」

講師 大橋 晃氏(洛28)

※第532回以降(令和2年1・3・5・7月)は非開催。



第529回 講師の武田淳一氏

関活洛有会

(4カ月に1回、第3金曜夕刻、京町堀クラブ)

年代を超えて気軽に闊達に意見交換、ぜひご参加を！

洛北高校卒の有志で関西を活性化させようと、平成14年に10期生を中心にスタートした「関活洛有会」は、同窓生ならではの交流の場。毎回、興味深い話題提供に闊達な意見交換、食事を交えての活発な交流を行っています。

第57回例会(令和元年10月18日)は、松葉知幸氏(洛18)から「弁護士会の話」の話題提供。松葉氏には第20回(平成19年)でも「裁判員制度について」の話題提供を頂きました。弁護士会・弁護士士の現状と特色について説明の後、揺らぐ「あるべき弁護士像」、弁護士登録をしていない法曹有資格者の増加などで生じる問題についても説明いただきました。松葉氏は平成27年度大阪弁護士会会長、日本弁護士連合会副会長を歴任されました。



第57回例会の参加者

第58回例会(令和2年2月21日)は、遠山祥子氏(洛20)から「表具をめぐる八話」の話題提供。遠山氏は、デパートの宣伝部広告課を経てフリーになられたライターです。「京都表装協会の歩み」(平成7年)、「表具の事典」(同14年)の編集に関わりました。京表具に注目し「美術を奨励する新聞」と竹内栖鳳にも感謝された日出新聞(現在の京都新聞)記事などを引用し、京表具の知られざるあれこれについてお話いただきました。今回は、10月16日開催を予定しています。

〈連絡先〉洛北17期 毛利勝一(mohrim@hi-ho.ne.jp)

洛北20期 林 芳樹(kyo884@khaki.plala.or.jp)

同窓生が発信し

東西南北

「夢のつづき…」



イタリア・ローマ発

✿ 新型コロナに揺れるイタリアから

河原田 慎一（洛北42期）

海外特派員としてイタリアのローマに赴任していると言うと、昨年までなら「ワインを飲みながら仕事をしているんでしょ」とからかわれたり、うらやましがられたり。それが今年は一転、新型コロナの感染爆発で「大丈夫？」と氣遣われるようになった。



コロッセオ近くを愛犬と

新型コロナは良くも悪くもイタリアらしい生活様式や社会文化を、大きく変えた。同国経済の復興も、全く見通せない。でも、イタリアならきつと抜け目ない方法を見つけ、うまく切り抜けるだろう。「コロナ後」の世界の中でこれからも目が離せない。イタリアにはそんな魅力がある。

ローマに赴任して2年半。日本の読者にも関心を持つてもらえる切り口で、担当する南欧諸国のニュースを届けるのが仕事だ。ネタ探しに困るところか、日々のニュースに追われるのは、記者としてとてもラッキーだと思う。昨年11月には、訪日したローマ教皇に同行取材した。ヨーロッパ総局の一員として、英国のEU離脱や、ジュネーブでWHOやILOなどの国際機関を取材したことも、貴重な経験だ。惜しむらくは、英語力は3年間担任だった荻野学先生のおかげ、と胸を張れないところ。ちゃんと勉強しておくべきだったと今ごろ後悔している。



ローマ教皇訪日取材

高校の頃は、自分がジャーナリズムの道に入り、海外に行くことなど想像もしていなかった。芸術大学に進んだものの、学生オペラ公演に明け暮れてろくに勉強もせず、新聞社に入社してからも、畑違いの検察や裁判所など司法関係の事件取材ばかり。行く先々で「なぜ新聞記者に？」と聞かれてもうまく説明ができないまま、20年が過ぎた。

気づくのが遅すぎたが、最近はこの「門外漢ぶり」を逆手に「何でも一から貪欲に学ぶこと」をいとわぬ姿勢が自分の強みだ、と思うようになっている。どんなことからでも積極的に学び、問いかけることだけは、忘れないようにしたい。

（朝日新聞ローマ支局 記者）

東京都・調布市発

✿ 「ガッテン！」で私が話した、妙なこと

藤井 建夫（洛北11期）

今年3月18日放映のNHK総合テレビの「ガッテン！」に出演した。「よ



なこと」を再度ここで述べてみたい。

特異な臭いで知られるくさは伊豆諸島で作られる魚の干物だが、不思議なことに普通の干物より2倍ほど日持ちが良い。これは漬け汁中の抗菌性物質などによるものである。くさやの加工に従事する者は手に傷をしても化膿しないという話も、防腐性を裏付けていて興味深い。

しょつつる（魚醤油）は秋田の特産品で、イワシやハタハタに高濃度の食塩を加えて1年ほど置き、魚のタンパク質が自己消化でアミノ酸になったものを利用した液体調味料である。45年ほど前、しょつつるの瓶詰を研究室に置いていたら、2週間もしないうちに白濁し開けると中身が噴出、腐敗させてしまった。天日製塩や塩湖などにいる好塩細菌が原因だった。

塩辛もしょつつると似ていて、イカの切り身と肝臓に食塩を10%程度加えて数週間熟成させる。食塩が腐敗を防ぐ間にイカの身が自己分解してアミノ酸が10倍くらいになって旨味が醸成される。最近では塩分が2、5%の塩辛が多いが、これらは腐敗が先行して熟成できないので調味料で味付けされているため冷蔵である。昔の塩辛とは中身が全く異なっているのである。

またレトルト食品は120℃で4分ほど加熱されているので、缶詰と同様に常温で長期保存できるが、最近では風味を優先して加熱を控えた要冷蔵の包装食品が増えている。外見は似ているが保存性が異なるため要注意である。さらに近年多く出回っているチルド食品では、「低温細菌」によつ

て腐敗するにもかかわらず、消費期限設定や品質検査のための生菌数測定に公定法（35℃培養）を用いることが多いが、これでは肝心の低温細菌が測定されない。生菌数測定は、低温細菌が増殖できる20℃以下の培養温度で行わないと間違った結果を得ることになる。

微生物は、高校でも大学でも学ぶ機会が少なく、馴染みの薄い生物である。しかし私たちの生活と関係が深いので、理解を深めていく必要がある。

（東京家政大学大学院客員教授、農学博士）

京都市北区

エントロピーの誤解と理解

新宮 秀夫（洛北5期）

難しい、と誤解されているエントロピーを、100年前にスペイン風邪で亡くなった京一中の先輩、村山槐多の名画「乞食と女」を見て理解しよう。

（Ⅰ）エントロピーはエネルギーの喜び

1グラムの石ころに1カロリーの熱エネルギーが含まれている状態を温度1度だと仮定すれば、10カロリーの石は10度のはず。1個の財布に1円しかない時と、同じ財布に10円ある時では「金持ち度」が10倍になる。

エントロピーは温度、金持ち度、など度数そのものではなく、度数が上がればどれだけ「喜び」が増えるかの指標である。それは「度数に反比例」して増減する。財布に1円しかないときに1円もらって「1/1=1」うれしいとすると、同じ1円でも10円あるときは「1/10=0.1」しかうれしくない。

（Ⅱ）喜びを上手に増すには温度差を大きくする

温度差のある二つの場所があると、エネルギーを高温側から取って低温側に移してもエネルギー量に変化はない。しかし、高温側でのエネルギー



減少の悲しみ(エントロピー減少)より低温側でのエネルギー増加の喜び(エントロピー増加)が大きい。差し引きでどれだけ喜べるか？

リングが1人あたり100個ある青森県(リング度が高い)で、1個1円だとすれば、1人に1個しかない京都(リング度が低い)では、1個100円することが(Ⅰ)で分かった。青森で100個仕入れて、京都で全部売れば儲け(喜び増加)は、10000円+100円=9900円。売り上げの99%が儲け。これを温度で計算したものがカルノー効率と呼ばれる指標である。

(Ⅲ) 温度が不均一な状態は自然に均一化する

100個のリングを、Aさん80個、B君20個に2人で分けて持っているとき、AからBに1個譲ると、Aの悲しみ(11/80)が減り、Bの喜び(11/20)が増えるから、2人合計の喜び(エントロピー)は増大する。Aが譲り続けると2人とも同数50個になるまで増え続けて、その時までの増加分の合計(喜びの積み重ね)は最大になる。

というわけで、乞食が女からコインをもらう名画の意味は、エントロピー(喜び)増大の描写、ということになる(?!)

(京都エネルギー・環境研究協会代表)

京都市左京区発



誰かの「当たり前」を応援したい

平田 杏薫 (洛北69期)

私は中学1年生の時に放送と出会い、行事などのアナウンスを喜んでもらえたことがとてもうれしかったことを覚えています。高校入学後、一番心を引かれた放送部で、放送の本質やその姿勢を知りたい、もっとうまくなりたいと思うようになりました。

高校生活を通して取材のアナウンスに打ち込みました。さまざまな人の取材をし、自分の信念を貫く多くの人たちに出会い、何かを成し遂げた時、脚光を浴びやすい「結果」だけでなくその「道のり」も応援する、自身のアナウンスにおいて大切にしたいもの、放送を通して伝えたいものができました。

もう一つ転機となったのが、ラグビー公式戦のアナウンスです。高校2年の秋に放送席から初めて見た生の試合は、多くの歓声が響く広いコート、その臨場感に圧倒されました。部活の最後の大会が終わった日に11月の高校総体の連絡を頂き、受験勉強の不安はありましたが、受験を言い訳にするならこの先も続けるべきではないと思い、アナウンスさせていざだくと決めました。さらに細かいルールや試合独自のアナウンスを一生懸命勉強しました。

ラグビーワールドカップ2019と入れ違うように始まった高校総体。どの選手にもこの時のために頑張ってきたという瞬間があったほしい、という思いでアナウンスしました。高校時代の放送部のどの活動においても「応援したい」という思いが、一番のモチベーションになっていったと思います。振り返ってみると、洛北高校にはたくさんの応援してくれる人がいまし



高校総体アナウンス室から



洛北OBチームの仲間と

僕も社会人の一員として悩み、わずかな知恵を絞り、大切な仲間と励まし合いながら、大きな困難に立ち向かっており、こんな日に出会うとは想像もしていませんでした。小さいながらも会社のリーダーとしての

スポーツは誰しものが生涯を通して楽しむことができ、より豊かな人生へと導いてくれます。しかも平等に手に入れることができる財産です。僕はラグビーの中心でたくさん学び、経験し、何より平凡だったかもしれない人生を全力で楽しむことができました。過去形で言うのはまだまだ早いかも知れません。

ところが今や世界中がコロナ禍で混乱し、



ワールドマスターズゲームがやってくる！

中村 直人（洛北36期）

京都市左京区発

た。いつも側にいてくれた仲間、成長を待ち、見守ってくださった先生、卒業生の方々。たくさんの方で築かれた伝統の中に、当たり前毎日がありませんでした。何気ない思い出に懐かしさを感じ、失敗しても、もう一度頑張ってみようと思えるのは、洛北高校で過ごした3年間のおかげだと思います。今度は自分が、お世話になった方々への感謝を込めて、誰かの「当たり前」を応援できる人になることが、私の夢です。

（京都女子大学現代社会学部一回生）



ウエールズW杯にて
(1999年)

責任、そして家族を守りきることに責任を考えたとき、いつも僕を奮い立たせてくれる闘志と、どんな時も顔を上げて前進しようと迷わずに足を踏み出すためのエナジーは、どれもスポーツから与えられたもので、それこそがスポーツがはぐくんでくれた僕の心であり、僕自身なのだと思います。そんな素晴らしいスポーツの世界大会が2021年に関西で開催されます。「スポーツ・フォー・ライフ（人生を豊かにするスポーツ）」の理念のもと、1985年から4年に1度開催されている世界最大級のスポーツの祭典「ワールドマスターズゲーム」です。概ね30歳以上なら誰でも参加できる生涯スポーツの競技大会に、皆さんも参加しませんか。公式の35競技に加えてオープン種目としての33競技が実施されます。

僕はラグビーでエントリーしました。昭和43年生まれの仲間を中心にラグビー経験者

とラグビーファンで結成された「ラグビー43会」チームは、走りまくるオジサンも、

階段の上り下りすらままならないオジサン

も、呑み会だけ参加のオジサンも、みんな

でスクラムを組んで世界のオジサンにチャレンジします。洛北10期の木下博夫さんがこの大会の事務総長として尽力されていますので、同窓生の皆さんでぜひとも競技にエントリーすると同時にボランティアスタッフとしても参加して、大会の盛り上げに協力しましょう。

さあ、来年こそスポーツを楽しみましょう！そしてスポーツができる喜びを噛み締めましょう。

（元ラグビー日本代表（株）なおかつ代表取締役）

三重県津市発

楽しかった洛北のあの頃

落合 禎子（洛北3期）

病に倒れて一年余り、気持ちしが沈みがちになる。これではいけないと、若い頃の楽しかったこと、「面白かったことなどを思い出して過ごすことにした。」

今日は高校生の頃のことを思い浮かべてみた。



1年生の担任は、生物がご専門の若くハンサムなM先生。4センチ幅くらいの白い紙に鉛筆で点を打っていく。右の方はまばらに、左へ行くほど密に。これは植物や昆虫などを立体的に、実物に近い描くためのトレーニンクだった。ホームルームの時間、プレーヤーを持参され音楽鑑賞をさせてもらったこともあった。モーツアルトのアイネクライネナハトムジークのメロディが印象に残っている。

先生のご自宅へ女生徒と男生徒が別々によんでもらい、旅先での淡い恋物語など、胸が熱くなる思いで聴き入ったものだった。

2年生の担任は幾何がご専門の中年のS先生。出席名簿を読み上げる当番が女生徒だと「女の人に名前を呼んでもらうのや、静かにせい」とざわついてた教室を鎮められた。黒板で問題を解きながら「この解き方ではうまくいかなあ、そこで我々は考えた」と、別の方法を示されたこともあった。

3年の担任は現代国語のT先生。前身の京一中で「君らはローソク、僕ら教師はそれを守る提灯だ」と言われ、そのままニックネームになったそうだ。卒業記念に自分の印鑑を作ってもらったことがうれしく、とても有

難かった。「女性は結婚すると姓が変わることが多いから、名前で作る方がいい」と言われ、その言に従った。その後ずっと自分専用の印鑑として重宝している。この年の文化祭ではクラス全員で合唱することになった。1曲目は「合唱讃歌」だったか「喜びの歌声よ、歌の調べよ…」という歌詞だったように思う。2曲目はベートーベンの『第九』の終楽章を日本語で歌った。藤原（旧姓鈴野）三千代さんの指導で練習に励み、後でT先生に「皆で心を一つにして、よく歌った」とお褒めの言葉を頂き、とてもうれしかったのを覚えている。

高校の頃に教わったことは、ずっと後になってから思い出し、役に立つことがある。もしかしたら若かった頃に身についた言葉や教えが自分の中で生き続け、人は成長するのかもしれない、とこの頃思うのだ。

（旧姓 栗原）

北海道美瑛発

北の国の小さなどうぶつクリニックから

木村 眞（洛北27期）

北海道の真ん中にある美瑛町は、北海道第2の都市旭川に隣接し、大雪山旭岳や噴煙の絶えない十勝岳を望む人口1万人ほどの小さな町です。山麓に広がる丘陵地が畑地として開墾され、その畑地が、作付け作物ごとに色合いが違っていて、パッチワークのように美しく見えることから、ラベランダと「北の国から」の富良野とともに、道内有数の観光地になっています。一方、観光客のいない冬の美瑛は、雪に覆われた真っ白な丘と、アイヌの人たちが「カムイミシタラ（神々の遊ぶ庭）」と呼んだ白銀に輝く大雪の山々がひとつに融け合あって、青白い静寂につつまれます。気温が氷点下20度を超える日や強烈な地吹雪ぎの日には、大自然の恐れ多い力を

痛感します。

私がこの美瑛に一家8人で移り住んだのは、2000年の夏でした。その10年ほど前に会社をやめ、獣医師を目指して北海道の酪農学園大学に編入学し、仙台や札幌で臨床経験を積んだあと、美瑛の丘の上に小さなどうぶつクリニックを開きました。今では、美瑛を中心に近隣の市町からもご来院いただき、年間のべ2500〜3000件くらいの診療をしています。

開業から20年、父母に助けられながら、妻と二人、4人の子育てと動物診療に明け暮れ、下は3才から上は中学1年だった子供たちも皆独り立ちしました。さらにこの間、洛北1期だった父が他界し、犬2匹を天に見送り、気づけば、母と私と妻、2匹の猫だけとなりました。手入れが十分できず繁るにまかせ森と化した庭にやって来るエゾリスや30種類ほどの野鳥に木の実をわけ、時折侵入するキタキツネを眺め、足跡でエゾユキウサギの来訪を知り、洛北山岳部で山三昧だったころからのあこがれだった大雪の山々をただ眺めて過ごすうちに、勤めていれば定年となる年を迎えました。30代の大半は獣医師を目指す2度目の学生でしたので、その分これからもしばらくは臨床を続けようと思っっています。ただ、これからは、診療以外の時間を持ち、関西へもでかけることができればというのが、目下の切実な願望です。



(獣医師)



We build roads around the world.

日本に、世界に、道をつくっています。



人材募集中

ワールド開発工業は、日本を含む世界20以上の国で新たな道をつくっています。



WORLD KAIHATSU KOGYO CO., LTD.
ワールド開発工業株式会社

〒381-0101 長野県長野市若穂綿内7484
TEL:026-282-3671 FAX:026-282-5803

母校だより



令和元年度卒業式 69期生276名が卒業、同窓会入り

令和2年2月28日(金) 第69回卒業証書授与式が体育館で挙行され、卒業生276名が卒業しました。式では山本康一校長から卒業生への式辞が述べられ、卒業生の門出を激励されました。また、村島智PTA会長からも祝辞が述べられました。

2月27日(木)には、同窓会入会式が執り行われました。同窓会からは山川富士夫常任理事、三輪新造常任理事が出席され、祝意を表し、伝統ある同窓会についてのお話をされました。また、69期生の学年幹事へ委嘱状が渡され、同窓会と生徒会より卒業記念品の贈呈がありました。

69期生幹事(敬称略)

- | | |
|----------|-------|
| 1組 中江亮太 | 野田彩華 |
| 2組 保家大将 | 平尾早耶 |
| 3組 高橋 和 | 松村日向 |
| 4組 池田和斗◎ | 田中 凜 |
| 5組 森金 舜 | 池田萌子 |
| 6組 羽賀大起 | 谷口 涼 |
| 7組 久世道大 | 金澤菜都子 |
- (◎印は69期生学年幹事代表)

令和2年度入学式

令和2年4月8日(水)に高等学校入学式及び附属中学校入学式が挙行され、高校へは279名、附属中学校へは80名の生徒が入学しました。例年は中高合同の入学式を挙行しているのですが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために別々に行いました。

入学式の進行においても新入生に対する入学許可の後、山本康一校長の式辞や今年度から新たにPTA会長に就任された只友景士PTA会長の祝辞は書面にて配布するなど、時間短縮に配慮した形となりました。ただ、本校の伝統を受け継ぐ洛北生としての新たな一歩を歩み始める新入生に対する想いは、十分に伝わったのではないのでしょうか。

初心を忘れず充実した学校生活を送り、新入生が学習に部活動に活躍することを期待します。

令和元年度 進路状況

※()は判明分の過年度生の数

昨年度の卒業生の大学合格実績は、東京大学、京都大学、大阪大学をはじめ国公立大学へのべ92名(52名)、同志社大学、立命館大学、関西大学、関西学院大学をはじめ私立4年制大学へのべ434名(172名)が合格しました。

国公立大学医学部医学科の合格者数はのべ4名(4名)となっており、また、京都大学特色入試では4年連続で合格者が出ました。主な大学別合格者数は次の通りです。

《国立大学》

東京大学1名(2名)、京都大学18名(4名)、大阪大学6名(1名)、神戸大学3名(4名)、北海道大学3名、東北大学2名(1名)、名古屋大学1名(1名)、九州大学1名、一橋大学(1名)、北見工業大学1名、群馬大学1名、東京外国語大学(1名)、富山大学1名(1名)、金沢大学2名(1名)、福井大学1名(1名)、信州大学(1名)、岐阜大学(1名)、静岡大学3名、名古屋工業大学(1名)、三重大学(1名)、滋賀大学4名(2名)、滋賀医科大学1名、京都教育大学3名(1名)、京都工芸繊維大学6名(5名)、奈良女子大学2名、鳥取大学(2名)、島根大学1名、岡山大学(1名)、広島大学3名(1名)、香川大学(1名)、愛媛大学(1名)、高知大学(1名)、熊本大学(1名)、琉球大学2名

《公立大学》

京都府立大学4名(1名)、京都府立医科大学3名、京都市立芸大学2名、大阪市立大学1名(1名)、大阪府立大学2名(5名)、滋賀県立大学4名(2名)、東京都立大学(1名)、岐阜薬科大学(2名)、福知山公立大学1名、兵庫県立大学1名(1名)、奈良県立大学1名、和歌山県立医科大学(1名)、高知工科大学1名

《私立大学》

同志社大学28名(11名)、立命館大学58名(50名)、関西大学21名(9名)、関西学院大学8名、慶応義塾大学3名(1名)、早稲田大学2名(1名)、東京理科大学2名(1名)、明治大学1名、青山学院大学(1名)、法政大学(1名)、京都産業大学56名(16名)、近畿大学28名(28名)、甲南大学2名、龍谷大学50名(8名)、佛教大学42名(6名)、同志社女子大学3名、京都女子大学14名(1名)、東京歯科大学(1名)、藤田医科大学(1名)、京都薬科大学2名(2名)、大阪医科大学2名、大阪薬科大学(2名)、関西医科大学7名、東京女子体育大学1名、大阪体育大学1名、その他103名(33名)

令和元年度前期部活動報告 (前号続き)

〔体育系〕

●剣道部

第72回京都府高等学校総合体育大会 女子団体3位
 全国高等学校総合体育大会
 第66回全国高等学校剣道大会
 第57回近畿高等学校剣道大会 京都府予選会 男子団体5位
 第57回近畿高等学校剣道大会出場

令和元年度後期部活動報告

〔体育系〕

●ラグビー部

第99回全国高等学校ラグビーフットボール大会
 京都府予選ベスト4
 第74回国民体育大会ラグビーフットボール競技
 少年男子 第3位 新井優大・渡辺龍
 第71回近畿高等学校ラグビーフットボール大会
 京都府予選Bブロック優勝
 第71回近畿高等学校ラグビーフットボール大会
 出場

●サッカー部

第98回全国高校サッカー選手権大会
 京都府予選 準優勝
 ●男子ハンドボール部
 全国高等学校ハンドボール選抜大会
 京都府予選 優勝
 近畿高等学校ハンドボール新人大会
 全国高等学校ハンドボール選抜大会 4位
 出場 (大会中止)

●女子ハンドボール部

全国高等学校ハンドボール選抜大会
 京都府予選 優勝



サッカー部

全国高等学校ハンドボール選抜大会近畿予選 3位
 全国高等学校ハンドボール選抜大会 出場 (大会中止)
●女子バレーボール部

全日本バレーボール高等学校選手権大会京都府予選 ベスト4

●陸上競技部

第52回京都府高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

女子 1年1000m 第4位 山村涼夏

女子 1年2000m 第2位 山村涼夏

山村涼夏(近畿大会出場)

女子 1年1000mH 第7位 近藤紅瑠美

女子 1年4000mH 第7位 奥田ララ

女子 1年走幅跳 第5位 大畑菜々

女子 2年1000m 第4位 滝本涼羽

女子 2年三段跳 第8位 野口ひかる

第52回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

女子 1年2000m 第8位 山村涼夏

第54回京都府高等学校ジュニア陸上選手権大会

女子 4×1000mR 第6位

(野口ひかる・滝本涼羽・山村涼夏・棚橋ほのか)

女子 三段跳 第7位 野口ひかる

●水泳部

京都府高等学校水泳競技新人大会

男子50mバタフライ 小島秀人 近畿新人枠第8位

近畿高等学校新人水泳競技大会

男子50mバタフライ 小島秀人 出場

●弓道部

第72回近畿高等学校弓道大会

女子団体出場

女子個人 余川恵里 出場

男子個人 西村太希 出場

令和元年度

全国高等学校総合体育大会弓道競技大会・第64回全国高等学校弓道大会

女子団体出場(23年ぶり14回目) ベスト16進出

余川・濱坂・竹田・西田・小島・増田

令和元年度京都府高等学校弓道選手権大会

女子の部2位 小島千穂

第38回全国高等学校弓道選抜大会京都府予選

(兼・第27回近畿高等学校弓道選抜大会京都府予選会)

男子団体3位 高見堂・堀本・黒川・藤本

女子個人3位 小島千穂

第27回近畿高等学校弓道選抜大会

女子個人 小島千穂 出場

●テニス部

令和元年度京都府立高等学校テニス選手権大会

女子団体の部 準優勝

令和元年度京都府立高等学校テニス選手権大会

女子個人の部 飛鳥井翠 第4位

【文科系】

●サイエンス部

京都科学グランプリ2019兼第9回科学の甲子園全国大会京都府予選会

優秀賞 競技科学班Aチーム(今井翔太、亀若遼大、川本青汰、北山太陽、

嶋村悠、岡司陽二郎、松田与、矢賀環規)

優秀賞 競技科学班Bチーム(小島秀人、安井瑛大朗、山崎祐吾、山崎友里加、

飯田健太、小田涼一郎、関子龍、徳田陽向)

日本生物学オリンピック2019 銅賞 川本青汰

第31回国際生物学オリンピック日本代表 川本青汰 ※47頁参照

第30回日本数学オリンピック予選

aランク 本選出場 徳田陽向

令和元年度京都・大阪数学コンテスト

最優秀賞 徳田陽向

奨励賞 萱野創太、松原和志

第14回科学地理オリンピック日本選手権

銀賞 嶋村悠、矢賀環規

第12回日本地学オリンピック

本選進出 矢賀環規

第19回日本情報オリンピック予選

二次予選 Bランク 敢闘賞 亀若遼大

日本動物学会 第90回大阪大会 ポスター発表

優秀賞 福田珠花、本間誠一

第39回近畿高等学校総合文化祭京都大会

自然科学部門 ポスター発表 奨励賞 福田珠花

第14回記念 朝永振一郎記念「科学の芽」賞（高校生部門）

「科学の芽」賞 福田珠花

第11回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト（高校部門）

入賞 福田珠花

●囲碁将棋部

第43回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会

女子個人準優勝 岩井温子

男子個人5位 森田拳

女子団体出場

第43回全国高等学校総合文化祭囲碁部門

女子個人戦優勝 岩井温子

男子個人戦4位 森田拳

第43回全国高等学校総合文化祭将棋部門

女子個人戦5位 上田可奈子

第8回近畿高校囲碁選手権大会

個人戦男子の部準優勝 森田拳

9路盤戦男子の部第3位 吉良拓也

京都府高等学校文化連盟優秀校発表会

京都府高等学校文化連盟会長賞 岩井温子

●放送部

第36回京都府高等学校総合文化祭放送部門

朗読部門新人戦 優秀賞 小形彩乃

オーディオビクチャー小部門 第3位

●文化研究部

第39回近畿高等学校総合文化祭

小倉百人一首かるた部門

京都府Bチーム七将として出場 伊東竜哉

第36回京都府高等学校総合文化祭

小倉百人一首かるた部門

個人第IVブロック 第3位 木本明佳里



文化研究部

【附属中学校】

●京都市中学校秋季総合体育大会

テニス競技男子団体 第3位 木村巴玖・奥村祐介・藤川裕生・山崎聡悟・古仲智貴・加藤暢啓・浅賀唯生・種村昊祐

●吹奏楽部

第52回京都府アンサンブルコンテスト

サククス4重奏 銀賞 伊藤杏莉・磯田真友子・長谷川遙香・林真由

※部活動以外

●京都市中学校秋季総合体育大会

バドミントン競技女子個人ダブルス 第3位 近藤咲希・山下なり

●第7回科学の甲子園ジュニア全国大会 京都府予選会

準優勝 藤森陽生・竹内蒼真・今井晟

第3位 加藤暢啓・才田遼・古仲智貴

※同全国大会 出場 藤森陽生・竹内蒼真・今井晟

●第41回「少年の主張」京都府大会

京都市PTA連絡協議会会長賞 中馬千陽

佳作 白井悠登・淀谷日菜・司辻麗乃・只友明德・竹下ひかる・日渡英里・伊藤杏莉・船越慈世

●「わたしたちのくらしと生命保険」第57回中学生作文コンクール

都道府県別賞 佳作 杉本さらね

●令和元年度全国中学生人権作文コンテスト京都府大会

佳作・京都人権擁護委員協議会長賞 田上慶一

●京都人権擁護委員協議会長賞 高木瑛祐・北口美古都・増井雄大

●第87回全国書画展覧会 書写の部

特選 近藤咲希

●平成31年度中学生「税についての作文」

京都市左京区租税教育推進協議会長賞 花田彩

●校内読書感想文コンクール

最優秀賞 才田遼・長谷川遙香・成田愛実

優秀賞 篠川唯・笠中晴風・中原英莉香

令和2年度前期部活動報告

新型コロナウイルス感染症拡大防止・緊急事態宣言に係る府の方針により全部活動を停止していましたが、6月より段階的に活動を再開しています。

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）・国際交流等の取組

附属中学校の開校とともにスタートした洛北のSSH事業も平成29年度から4期目となり、今年はその4年目として、研究開発課題として掲げた「次世代の科学技術分野を牽引する人材育成プログラムの開発」に取り組んでいます。

●研究室体験研修

サイエンス科および文理コースの2年生希望者を対象として実施している「研究室体験研修」も4年目となり、昨年度は中高一貫コース18名、文理コース10名の計28名が、3大学7研究室に分かれて、3日間にわたって最先端の研究を体験し、研究の方法や考え方について学びました。なお、今年度の実施は新型コロナウイルス感染症防止のため現在、未定です。



研究室体験

●サタデープロジェクト・サイエンスチャレンジ

学年や教科の枠を超えた多様な活動を行うことで、生徒の知的好奇心を高めることを目的とした「サタデープロジェクト」では、年間4回に分けて、理科実験のほか、ワークショップ、講演などを土曜日に実施しました。教科融合型の取組や、大学や連携機関である総合地球環境学研究所とコラボした講座も開催し、たくさんの生徒が自分の興味関心に応じて参加し、好評を博しています。

サイエンスチャレンジは、サタデープロジェクトの枠や放課後、長期休業中の時間を利用して、授業を離れて、様々な「科学」に挑戦する講座です。社会と理科のコラボ企画の校外学習ツアーをはじめ、理科や数学のさまざまな実験・特別講義を実施しています。

今年度もサタデープロジェクト、サイエンスチャレンジともさまざまな企画を実施する予定です。

●「洛北ラグランジュの会」を毎月開催

「数学好き」という中学生、高校生を対象に京都大学名誉教授上野健爾先生をお招きし、毎月1回ラグランジュの会を開催しています。参加生徒の習熟度に合わせて講義内容を決め、さらに講義の進め方も数学的な考察方法で自然と身につくようになっていたため、とてもExcitingな講義となっています。

●アジアサイエンスワークショップ in Singapore

例年夏休みに、京都府立スーパーサイエンスハイスクール指定校はじめ、ネットワーク高校8校の生徒がアジアサイエンスワークショップ in Singaporeに参加しています。これは国際的リーダーシップの育成を目的にしたプログラムで、洛北高校からも毎年、参加しています。今年度の実施可否は現在、未定です。

●洛北高校グローバル人材育成プログラム

「世界というフィールドで未来をデザインする人間力をつける」今年で7年目になる「グローバル人材育成プログラム」は、これからのリーダーに必要とされる「実務力」、「展望力」、「発信力」を養う、本校独自の次世代リーダー育成プログラムです。

・【実務力】事前学習を核に英語力、プレゼンテーション力を鍛え、自分を見つめ成長させる意識を育む半年間に渡る自己開発プログラムです。

・【展望力】アメリカ研修では最先端の大学や研究所の現場を見て、そこで実際に活躍している学生と交流し、自らと世界の未来を展望します。

・【発信力】英語でのディスカッションとプレゼンテーションを経て、自分の意見を積極的に表現し、夢や目標を意欲的に探究できる姿勢を培います。

参加予定者は事前に研修を受け、3月のアメリカ研修では、ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学、スタンフォード大学で研修する他、ボストンでは市内見学でアメリカ建国の歴史に直に触れるなど、充実した研修を実施する予定です。

●エディンバラ語学研修、オーストラリア語学研修、海外短期留学チャレンジ

京都府教育委員会の事業として行われる2つの語学研修および海外短期留学が例年、実施され生徒は積極的に参加してきました。今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため夏出発の研修は中止となり、冬出発の研修は現在、未定です。

これまでに参加した生徒は、異文化の中で生活し、母語ではない言語でコミュニケーションを図る経験により、新たな視野を持ち、語学力、コミュニケーション力を高めることができました。

転出者・退職者					転入者・新任者						
職名	教科等	氏名	よみがな	新任校等	備考	職名	教科等	氏名	よみがな	前任校等	備考
副校長		松井 佳代美	まつい かよみ	府教委		副校長		川津 英昭	かわづ ひであき	洛北高附属中	
首席副校長		川津 英昭	かわづ ひであき	洛北高		首席副校長		板津 吉彦	いたづ よしひこ	鴨沂高	
教諭	国語	吉岡 伸治	よしおか しんじ		再任用	教諭	国語	吉岡 伸治	よしおか しんじ		再任用
教諭	国語	平田 満子	ひらた みつこ		再任用	教諭	国語	平田 満子	ひらた みつこ		再任用
教諭	国語	塚越 淳子	つかごし あつこ	鴨沂高		教諭	国語	佐々木 綾子	ささき りょうこ		新規採用
教諭	地歴・公民	酒井 伸哉	さかい しんや		再任用	教諭	地歴・公民	酒井 伸哉	さかい しんや		再任用
教諭	地歴・公民	佐分利 恵	さぶり めぐみ	東宇治高		教諭	地歴・公民	大串 有介	おおぐし ゆうすけ	網野高	
教諭	地歴・公民	岩城 達哉	いわき たつや		再任用	教諭	地歴・公民	岩城 達哉	いわき たつや		再任用
教諭	地歴・公民	谷口 温司	たにぐち あつし		退職	教諭	地歴・公民	谷口 温司	たにぐち あつし		再任用
教諭	数学	太田 恵一	おおた けいいち		退職	教諭	数学	太田 恵一	おおた けいいち		再任用
教諭	数学	畑 弘大	はた こうだい	鴨沂高		教諭	数学	田口 雄涼	たぐち ゆうすけ	北鏡高	
						教諭	数学	森永 梨加	もりなが りか		新規採用
教諭	理科	川本 晋	かわもと すずむ		再任用	教諭	理科	川本 晋	かわもと すずむ		再任用
						教諭	理科	米本 朋生	よねもと ともお	園部高	
教諭	保健体育	田川 さなえ	たがわ さなえ	スポーツ協会		教諭	保健体育	難波 祐樹	なんば ゆうき	南丹高	
教諭	芸術(音楽)	東 久美子	あずま くみこ	城南菱創高							
教諭	英語	篠原 信一	しのはら のぶかず	清明高		教諭	英語	福谷 美保子	ふくたに みほこ	鳥羽高	
教諭	家庭	竝川 幸子	なみかわ さちこ		退職	教諭	家庭	竝川 幸子	なみかわ さちこ		再任用
教諭	数学	井川 太貴	いがわ たいき	寺戸中							
教諭	理科	増山 奈津規	ますやま なつき		退職						
養護教諭		堀井 登志美	ほりい としみ		退職	養護教諭		堀井 登志美	ほりい としみ		再任用
事務職員	主事	猪飼 祐美子	いかい ゆみこ	洛東高		事務職員	主事	岡田 裕一郎	おかだ ゆういちろう	南陽高	
常勤講師	数学	乾 泰輔	いぬい たいすけ		育休代替	常勤講師	数学	乾 泰輔	いぬい たいすけ		育休代替
常勤講師	保健体育	首藤 洋	しゅとう ひろし			常勤講師	保健体育	川久保 友理	かわくぼ ゆり		
						常勤講師	芸術(音楽)	相馬 光徳	そうま あきほ		

ご存じですか？

京都府母校応援ふるさと事業

府立洛北高校・附属中学校へ

ご寄附をお願いいたします！

洛北高校・附属中学校では、京都府母校応援ふるさと事業を活用し、学校の教育環境改善や学習支援を促進するために、みなさまからのご寄附を募っています。

寄附金

● 部活動支援
屋外コートやグラウンドの全天候化・人工芝化
文化系部活動の機器整備 等

● 学習活動支援
より専門的な学習・進路指導に係る講師の招聘、
環境整備 等

「京都府母校応援ふるさと事業」とは？

京都府教育委員会では、自分の選んだ自治体に寄附(ふるさと納税)を行った場合に寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される「ふるさと納税」制度を活用し、府立学校の施設設備・教育環境等の充実を図ることを目的として寄附金を募集します。卒業生にかぎらず、どなたでも寄附していただけます。各府立学校においては、これまでも魅力ある学校づくりに向けて様々な取組を実施しています。

本事業は、こうした学校独自の取組を応援するという趣旨から、ふるさと納税を活用した制度として創設したものです。学校ごとに、寄附金を活用した取組内容を設定しており、学校を指定して寄附していただけます。

納付方法は、「金融機関への振込」も、「クレジットカード(インターネット)」も御利用になれます。

※詳細は京都府教育委員会HP、本校HPをご覧ください。

実質2,000円の負担で、一定の上限まで寄附できます。

在校生トピックス

国際生物学オリンピック日本代表に！

生物学に才能のある高校生が参加して、世界の仲間と競い、交流する国際生物学オリンピック2019の日本代表4人のうちの1人に、サイエンス科（中高一貫コース）3年生の川本青汰君が選ばれました。川本君は2018大会に続いて2度目の挑戦。入賞に至らなかった前回の経験を生かして、過去問題にあたるだけでなく教科書を読み込んで知識を身につけ、見事に入賞、さらに選抜試験を経て代表となりました。

長崎県佐世保市で開催予定だった国際大会は、新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら中止となりましたが、8月には東京の科学技術館でリモート大会を開催。結団式の後、実験試験と理論試験に挑みます。「ナマではないけど、世界のすごい人たちと同じ立ち位置で競い合える」とチャレンジが楽しみな様子です。

生物の面白さを知ったのは、学校の図書室にあった科学雑誌「Newton」のDNA特集が最初。そして降旗敬先生（ふりはた）の授業で生物学そのものの魅力により深く引かれるようになりました。「生物は誰かが設計したわけでもないのに、人がつくったものよりずっと複雑に美しくつくりられている。きちっと歯車と歯車が噛み合って動かしている。そこがすごい」と熱弁。パソコンの機械的な仕組みやインターネットの情報伝達の成り立ちを調べたりするのも好きという川本君。自分が面白いと思えることを突き詰めていって、わからないことを「そうなんだ！」と納得できるようにすることが理想とのこと。卒業後は工業化学の分野にすすんで生物学的な研究に取り組み、大学や大学院でさまざまな経験を重ねて人間としても成長していきたいと語ります。



「わからないことが気持ち悪い」「わかる時が楽しい」と話す彼の率直さは、研究者の基本姿勢に通じるものでしょう。川本君の今後の活躍が大いに期待されます。

「高校生クイズ日本一」を達成！

昨年9月、同窓生のお茶の間を沸かせたのは母校在校生の「全国高等学校クイズ選手権優勝」のビッグニュース。サイエンス科（中高一貫コース）2年生（当時1年生）の吉良拓也君、徳田陽向君、小田涼一郎君の3人による快挙でした。母校としては5年ぶり2度目の栄冠です。

2018年から「地頭力」がコンセプトとなったこのクイズですが、取り立てて特別な対策は立てず「決勝の1回戦だけは突破しないとテレビに映らないから」とほぼ無欲で臨んだ3人。ところが競技が進むにつれて次々と難問をクリアする快進撃。ついに代表51校中の頂点に輝く栄誉を手にし、洛北高校生が学校の勉強や知識だけでなく、実践力や臨機応変さがものをいう、現場の問題解決にも力があることを、全国にアピールしてくれました。中学時代にテニスクラブで知り合った3人ですが、リーダー役の吉良君が「二人が優秀だったから」と褒めれば「師匠の知識量はやっぱりすごかった」と徳田君が小田君を尊敬。「師匠」と呼ばれる物静かな小田君も、二人を見ながら何だか楽しそう。「チームワークがありながらも得意とする分野が違っていたところが強みだった」と、徳田君は勝因を分析します。



優勝を決めたモアイ像運び（高校生クイズ2019決勝）

吉良君は「テレビの制作現場にプロのごさを見た」と語り、徳田君は「他のコンテストに臨む時の自信がついた」、小田君は「参加者の自己アピールの独創性が刺激になった」と、出場経験がそれぞれプラスになった様子。来年は受験で無理でしょう、と水を向けると「いや（応募してみるかも）……」と余裕の反応。頼もしい3人です。



左から吉良君、小田君、徳田君



あかねの窓

「これは難問！」京一中の試験問題を展示

京都祇園、八坂神社前の漢検 漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）で開催中の「なやみ深き漢字学習〜明治から戦前へ」展に、同窓会が保管している京一中時代の試験問題が展示されています。

「同館は、漢字を見るだけでなく、触れて、学んで、楽しむ体験型ミュージアム。この企画展は「漢字」を切り口に日本の近代教育の歴史や移り変わりを探ろうとするものです。

現代のような漢字ドリルやノートがなく、小学校で学習する漢字の数も決まっていなかった時代、さらに漢字を廃止しようとする運動もある中で、

人々は漢字をどのように学び、教えていたのか。当時の漢字テスト

から小学生の漢字学習の実態を知るコーナーや、

戦前の漢字ドリルなど

教材の展示、国語教科

書と漢字学習との関係

や漢字廃止論の論者と

各意見の紹介など、多

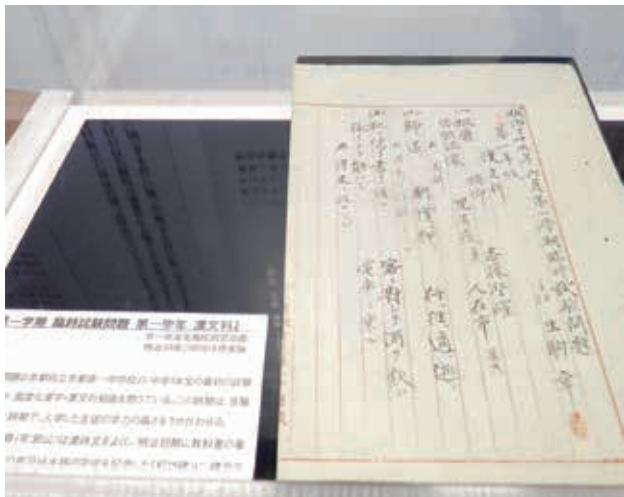
面的にアプローチする

構成。明治時代の漢字

書取試験の答案や戦前

の教科書・漢字ドリル

など、漢字学習の珍し



同窓会から提供した京一中の試験問題

い資料を目にすることができます。

京一中の資料は、明治39年6月、当時の一年生に実際に出された漢

文科の試験問題3題。「志操堅確」

の意味を問われたり、「行、往、適、

逝」の意味の違いを詳しく述べた

りする試験問題に、来場者からは「む

ずかしい」「すごいねー」といっ

た声が聞かれるそうです。

来年度以降に同じテーマを「戦

後から現代」について迫る展示が

行われる予定です。同館では、こ

の企画展のための展示資料として古い漢字や国語のドリルの寄贈を募っ

ているとのこと。お持ちの方がおられましたら、当館あるいは同窓会事務局

までご一報ください。

展示会は、新型コロナウイルス感染症防止策をとりながら令和3年1月5日(火)ま

で開催予定です。(入館料のみ必要)



京一中洛北高校同窓会 第67回総会の中止について

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、京一中150周年・洛北高校70周年記念事業の開催が見送りとなったことから、記念祝宴と併せて開催予定であった第67回総会は中止することを、本年度の第2回理事会（7月11日）において提案され、承認されました。

同窓会会則第12条に「総会は年1回之を開き、理事会が必要と認めた場合は臨時総会を開く」とあり、総会では理事会で承認された事業計画並びに事業報告、予算・決算・監査報告等を行うこととなっております。従って原則、総会にて行うべきこれらの報告を、第67回総会につきましては、以下に理事会の承認事項を報告として掲載し、総会開催に代えさせていただくことといたします。

なお報告事項に対するご質問、ご意見等につきましては、あかね第58号に同封の連絡ハガキにてお聞かせいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

第67回総会に関する報告

令和2年度第2回理事会（7/11開催）に提案された以下の議案は、すべて承認されました。

第1号議案 会務報告

常任理事 谷口光男（洛21）

令和2年度定例理事会開催記録については、本部だより（P55）を参照。

そのほか定例の会議として、毎月の常任理事会兼「あかね」編集会議と併せて記念事業実行委員を加えた体制で「拡大常任理事会」を開催・運営。記念事業各部会の取り組みの報告、コロナ発生後は情報の収集や今後の方針などについての作業を主体として行った。

第2号議案 令和元年度会計報告

常任理事 山川富士夫（洛25）

令和元年度会計報告書（P54－P55を参照）

第3号議案 令和2年度予算報告

常任理事 山川富士夫（洛25）

令和2年度（令和3年3月末決算）予算報告（単位千円） 令和2年7月11日 修正

取 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	令和元年度 決算	令和2年度 予算	決算・予算 増 減	科 目	令和元年度 決算	令和2年度 予算	決算・予算 増 減
前期繰越金	16,397	15,783	△ 614	「あかね」発行費	2,995	3,000	5
入 会 金 令和3年3月卒業生(280人)	825	840	15	総 会 費	1,725	1,000	△ 725
会費（既会員分）	4,748	4,500	△ 248	補 助 費	49	50	1
うち半年度会費	1,498			出 張 費	119	100	△ 19
前納（3年分）	1,155			会 議 費	148	100	△ 48
前納（5年分）	2,016			記 念 品 費	125	120	△ 5
その他前納	79			事 務 用 品 費	540	500	△ 40
会 費 (H31年3月卒業 276人)	1,932		△ 1,932	通 信 費	1,970	2,000	30
会費（前受金勘定） (R2年3月卒業 275人)	1,925	1,925	0	人 件 費	1,866	2,000	134
会費（前受金勘定） (R3年3月卒業 280人)		1,960	1,960	慶 弔 費	13	30	17
総会出席者	447	0	△ 447	福 利 厚 生 費	10	15	5
広告掲載料	2,080	0	△ 2,080	水 道 光 熱 費	193	200	7
寄付金	1,984	0	△ 1,984	支 払 手 数 料	344	350	6
雑収入	0	0	0	雑 費	24	100	76
販売売費	16	10	△ 6	旅 費 交 通 費	170	180	10
飯 受 金	119	0	△ 119	備 品 費	65	150	85
				諸 会 費	21	30	9
				ホームペーｼﾞ作成費	0	0	0
				会 費 (H31年3月卒業 276人)	1,932		△ 1,932
				会費（前受金勘定） (R2年3月卒業 275人)		1,925	1,925
				予 備 費	278	300	22
				周年記念事業積立	2,103	0	△ 2,103
取 入 計	14,076	9,235	△ 4,841	支 出 計	14,690	12,150	△ 2,540
				次 年 度 繰 越 金	15,783	12,868	△ 2,915
取 入 合 計	30,473	25,018	△ 5,455	支 出 合 計	30,473	25,018	△ 5,455

第4号議案 監査報告

監事 河村澄子 (洛22)

令和2年6月16日同窓会事務局にて、小林宏史監事(洛10)とともに会計監査を行った。監査の結果、保管・保存も含め会計処理に間違いがないことを確認した。

第5号議案 京一中150周年・洛北高校70周年記念事業の開催見送りと次年度への延期について

記念事業実行委員長 木下博夫 (洛10)

今般の新型コロナウイルスの感染は世界中に拡大し、わが国においても4月には全国に緊急事態宣言が発せられ、さまざまな分野で活動の自粛が求められた。6月には緊急事態宣言は解除されたものの、現時点ではその終息を見通すことも困難な状況が続いていることから、本年開催を予定していた京一中150周年・洛北高校70周年記念事業(以下「記念事業等」)について、記念事業実行委員会および常任理事会において検討を重ねた結果、記念式典、記念祝宴等の一連の記念事業を来年(令和3年)10月への延期を前提に、開催を見送ることとした。

開催見送りを決定するにあたっては、同窓会理事や記念事業実行委員からは新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せないことや、延期によって生ずるさまざまな問題点、周年事業の開催意義等についても種々意見をいただいた。

実行委員会としては、今回の記念事業等は京一中150周年という節目の年に「京一中の歴史をつなぎ、洛北の夢をつむぐ」というテーマを掲げて開催を決定したことから、京一中の先輩方はもちろん、これからの同窓会を支えていく若い方たちへの思いをつなげることは、たとえ開催が1年延期されることになっても、その意義は変わらないものと考えている。

次年度開催する記念事業等の規模や内容については今後検討していくが、実行委員会としても、次年度の開催に向け引き続き努力する所存である。次年度開催の記念事業等の概要については、来年刊行の「あかね」第59号で改めて案内するので、同窓会員には引き続き支援と協力をお願いしたい。

第6号議案 あかね第58号の広告の無料掲載について

常任理事 平塚 泉 (洛22)

新型コロナウイルス感染拡大による国内外の経済情勢への影響を鑑み、また長きにわたり広告掲載によるご支援への感謝の意を込めて「あかね」第58号(本誌)の広告掲載料を無料とした。(令和2年度予算報告参照)

第7号議案 第67回総会の中止について (既述 P51参照)

常任理事 谷口光男 (洛21)

以上

会費納入のご協力をお願いします

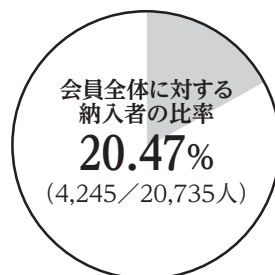
京一中洛北高校同窓会は会員相互の友情、親睦を深め、母校の発展を図ることを目的としており、下記のような業務および活動支援を行っています。その運営基盤となる同窓会費は会員の高齢化・少子化など諸事情により年々減少しており、誠に憂慮すべき事態となっています。

いま一度、同窓会の目的、事業の内容、各種支援の実態、会費納入の現況を考慮いただき、会費納入のご協力をお願い申し上げます。既に納入いただいている同窓会員には、ご友人、同期生、部活同輩・後輩など、関わりある同窓の方々への呼びかけをお願いいたします。

○同窓会の業務、活動支援

- ・ 会員情報の管理、名簿の維持管理
- ・ 支部総会、学年同窓会、部活OB会の案内状印刷、宛名印刷、発送
- ・ 同窓会誌「あかね」の発行および発送
- ・ ホームページの作成・管理
- ・ 本部総会の開催・進行、会費補助
- ・ 会員に関連する資料の管理
- ・ 母校への支援（御祝金、横断幕材料費など）

○納入状況 令和元年度現在



(内訳)

- 京一中卒業生 15.52% (159/ 1,024人)
- 洛北高校卒業生 20.72% (4,086/19,711人)
 - ・ 洛北高校 (1～30期) 23.14% (2,354/10,170人)
 - ・ 洛北高校 (31～60期) 4.16% (300/ 7,200人)
 - ・ 洛北高校 (61～69期) 61.17% (1,432/ 2,341人)

◆会 費

単年度会費	2,000円
3年前納会費	5,500円
5年前納会費	9,000円

◆振込口座

①ゆうちょ銀行 01050-4-1043

②京都銀行下鴨支店
普通 142-19950

京 一 中洛北高校同窓会
理事長 三島康之(みしま やすし)

※封筒の宛名右下に会費前納済の表示がある方は本年度分を納入済みです。
(平成29年3月以降の卒業生は4年分(7,000円)を卒業時に前納いただいています)

◆在庫わずかです。

同封の払込取扱票でご注文いただけます。

④下鴨校舎史 1,200円

⑤校歌レコード盤 1枚 1,000円

⑥校歌カセットテープ 1本 800円

(⑤⑥同時購入の場合は1,500円)

令和元年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）会計報告書

収入の部			支出の部		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
前年度繰越金①	16,397,359	平成31年3月期末	「あかね」発行費	2,995,337	印刷・丁合・製本代・発送料・取材費等
			総会費	1,725,164	令和元年11月30日開催 懇親会費用含む
入会金（H31年度卒業）	825,000	令和2年3月 卒業生 275人	補助費	48,928	各支部・母校部活応援
			出張費	119,292	北海道・京浜・東海支部
			会議費	147,623	周年記念事業委員会・理事会など
会費（既会員分）	4,747,500	1,193人	記念品費	124,663	卒業生記念品、同窓会賞
うち 年度会費	1,498,000	749人	事務消耗品費	539,956	事務消耗品費・会費払込票印刷代など
前納（3年分）	1,155,000	210人	通信費	1,970,126	会費納入再依頼通信費・一般通信費
前納（5年分）	2,016,000	224人	人件費	1,865,750	アルバイト料（常勤2人）臨時等
その他	78,500	10人	慶弔費	13,478	弔電（2件）
うち 一中会費	206,000	75人	福利厚生費	10,164	事務室用茶葉・コーヒー代等
教職員会費	0	0人	水道光熱費	192,676	ガス・水道・電気代
洛北 会費	4,541,500	1,118人	支払手数料	344,215	あかね封入・仕訳作業・会費振込手数料他
			雑費	24,084	卒業アルバム代（高・中）・ プリンター・封緘機調整他
会費（H30年度卒業）	1,932,000	平成31年3月 卒業生 276人	旅費交通費	170,440	理事会出席・アルバイト交通費
			備品費	64,900	シュレッダー購入
会費（前受金勘定）	1,925,000	令和2年3月 卒業生 275人	諸会費	21,000	各地域会等会費
総会出席会費	447,000	令和元年11月30日開催	会費（前受金勘定）	1,932,000	平成31年3月 卒業生 276人
広告掲載料	2,080,000	「あかね」広告代	予備費	277,660	大田高校総同窓会来校渉外・徽章作成代
寄付金	1,984,382	会員の皆さまからのご厚志等	寄付金 記念事業積立金へ	2,102,882	京一中150年洛北高校70年記念事業へ
雑収入	0		支出計④	14,690,338	「あかね」発行費～記念事業積立金へ 計
販売費	16,300	下鴨校舎史、徽章、レコード、カセットほか			
仮受金	118,500	京一中関連出版販売等			
会計収入計②	14,075,682	入会金～仮受金 計			
			次年度繰越金⑤	15,782,703	=③-④
収入合計③	30,473,041	=①+②	支出合計	30,473,041	

一般会計 現預金残高（R2・3・末 現在）		京一中150年・洛北高校70年記念事業 預金残高	
現金	139,056	現金	197,623
普通預金	1,537,890	普通預金	11,293,714
ゆうちょ銀行	14,105,757	定期預金	6,065,605
合計⑤	15,782,703	合計	17,556,942

R元年度利息入金分
内（80円）
内（515円）

令和元年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）周年記念事業 会計報告書

収入の部			支出の部		
科目	金額	適用	科目	金額	適用
前年度繰越金①	16,341,844	平成31年3月期末	「あかね」発行費	1,897	取材費
			通信費	73,960	講師依頼・動員依頼他郵送費
寄付金	1,984,382	一般会計寄付分振替	手数料	486,326	京都コンサートホール申込金（※）他
寄付金	118,500	京一中関連出版販売等分振替	事務用品費	7,448	チラシ印刷・印刷ラベル
その他売上	10,000	京一中関連出版本 直販	出張費	109,292	各支部 記念事業広報出張
			会議費	67,900	拡大実行委員会等諸費
普通預金利息	80	普通預金利息（京銀）	諸会費	4,000	広報活動時 会費負担
定期預金利息	515	定期預金利息（中信）	備品費	96,040	取材用ビデオカメラ・横断幕
			雑費	51,516	全国高校PTA大会 広告他
収入小計②	2,113,477	寄付金～預金利息 計	支出小計④	898,379	「あかね」～雑費 計
			翌年度繰越金⑤	17,556,942	=③-④
収入合計③	18,455,321	=①+②	支出合計	18,455,321	

科目	金額	金融機関
現金	197,623	
普通預金	11,293,714	京都銀行
定期預金	6,065,605	京都中央信用金庫
合計	17,556,942	翌年度繰越金⑤

※ 翌期にキャンセルに伴う返戻

本部だより

令和2年度定例理事会開催記録

第1回 3月7日（土）午前10時 コモンホール
令和元年度2月未予算執行状況と決算予測（お願い状発送状況と効果）、令和2年度予算案、67回総会開催要項案、「あかね」基調確認、京一中150周年・洛北高校70周年記念事業総論報告と各部会長報告

第2回 7月11日（土）午前10時 コモンホール
母校現況（コロナ禍の教育現場について）、記念事業委員会報告（事業の開催見送りと延期開催について）、令和元年度決算・監査報告（会費納入状況）、同2年度予算提案、67回総会開催要項案（開催の可否について複数理事より「開催を見送りあかね誌上での報告に替える」提案があり了承された、「あかね」第58号編集状況・発刊予定、広告状況ほか

◎令和元年度に頂いた寄付金につきましては、すべて記念事業の寄付金に組み入れさせていただきます。寄付者の芳名は記念事業終了後、「あかね」誌上で報告いたします。

京一中・洛北高校関連 資料寄贈のお願い

京一中・洛北高校OBの高齢化とともに、先輩諸氏が所蔵されている学生時代の貴重な資料が、散逸し喪失する恐れが生じております。京一中・洛北高校の関連資料（教科書、機関紙、アルバム、学生時代や旧校舎の写真など）をお持ちの方は、ぜひ同窓会にご寄贈いただきますようお願いいたします。とりわけ戦前・戦中の資料は同窓会にも母校にもほとんど残されておりません。ご連絡・お問合せは同窓会事務局まで。

令和2年度 同窓会役員	会長 高坂 節三（洛北4期）
副会長 加藤 幹雄（洛北5期）	同 横山 俊夫（洛北15期）
理事長 三島 康之（洛北14期）	特別顧問 山本 康一（洛北高校校長）
常任理事 中岡 保弼（洛北11期）	同 三輪 新造（洛北11期）
同 谷口 光男（洛北21期）	同 谷口 幸伸（洛北22期）
同 平塚 泉（洛北22期）	同 河原 敏明（洛北23期）
同 山川 富士夫（洛北25期）	同 西村 佳哲（洛北27期）
同 今西 拓人（洛北33期）	同 小林 宏史（洛北10期）
同 河村 澄子（洛北22期）	監事 同

あかね第58号

令和2年8月26日発行

発行所 京一中洛北高校同窓会
〒606-0851

京都市左京区下鴨梅ノ木町59

京都府立洛北高等学校内

電話・FAX 075-712-0375

E-mail: kf31.rk41.d6@kna.biglobe.ne.jp

発行者 高坂節三

印刷所 株式会社ティ・プラス 075-462-7889

【58号編集委員】

平塚泉（担当理事・洛22） 遠山祥子（編集補助
・洛20） 八田香津子（洛19） 倉部京子（洛29）
早藤友香子（洛32） 鍛治ちか（洛50）、常任理事会

通りに面した同窓会事務局の部屋の灯が見えるとホッとします。母校とはなんと心休まる言葉でしょう。穏やかな日常生活を送りづらいこの頃ですが、一日も早く、皆様が健康で、心豊かな時間を過ごせますように。（K）

同窓生限定販売

京一中記念誌購入のご案内



『われら自由の学び舎に育ち』

(A5判/口絵カラー/402頁)
平成30年12月30日刊行

同窓会特別価格

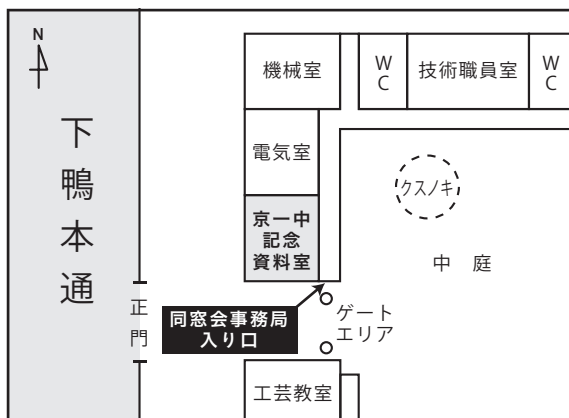
2,500円 (税・送料込!!)
(残部 300余り!)



『むかし 京都の一中生』

(A5判/口絵カラー/409頁)
平成30年1月25日刊行

3,000円 (税・送料込!!)
(残部 600余り!)



〈母校卒業生限定〉

事務局スタッフ募集!

学年会開催のための案内状発送から名簿管理、イベント取材や冊子編集、資料管理などを通して母校卒業生のコミュニティづくりを支援する仕事です。

興味のある方は、ぜひ一度事務局までお尋ねください。お待ちしております。

(勤務時間10時～16時、曜日その他はご相談)

TEL 075-712-0375

祝 京一中150周年 洛北高校70周年



招
徳

招徳酒造株式会社

日
出
盛

松本酒造株式会社

月
桂
冠

月桂冠株式会社

 株式会社 元廣

MOTOHIRO

繊維事業部

本社 / 京都市伏見区下鳥羽広長町 162 番地
TEL 075-611-2195 FAX 075-612-0976
大阪 / 大阪府中央区本町 3-5-7 御堂筋本町ビル 11F
TEL 06-6263-5858 FAX 06-6263-0515

外食事業部

本社 / 京都市伏見区下鳥羽広長町 162 番地
TEL 075-603-1110 FAX 075-603-1170





社会福祉法人アスクこども育成会



アスクあじま保育園

アスク向日保育園

アスク西新井保育園



〒462-0013
 名古屋市北区東味踰 3-101-1
 052-909-5711
 ※名鉄味踰駅より徒歩 7分



〒617-0001
 向日市物集女町森ノ下1番地1
 075-935-5533
 ※阪急京都路西口駅より徒歩 5分



〒123-0841
 足立区西新井4丁目18番7号
 03-5647-8227
 ※日暮里・舎人ライン 谷在家駅より
 徒歩6分

	ホテルニューアワジ 〒656-0023 兵庫県洲本市小路谷20 TEL 0799-23-2200 / FAX 0799-23-1200 http://www.newawaji.com/	JR舞子駅から ハイウェイバスで60分		ヴィラ 楽園 〒656-0023 兵庫県洲本市小路谷20 TEL 0799-23-2200 / FAX 0799-23-1200 http://www.newawaji.com/	JR舞子駅から ハイウェイバスで60分
	夢然亭 泉景 〒656-0023 兵庫県洲本市小路谷1052-2 TEL 0799-22-0035 / FAX 0799-24-0035 http://www.yumesenkei.com/	JR舞子駅から ハイウェイバスで60分		天原 〒656-0023 兵庫県洲本市小路谷1052-2 TEL 0799-23-2200 / FAX 0799-24-0035 http://www.yumesenkei.com/amahara/	JR舞子駅から ハイウェイバスで60分
	花亭 〒656-0023 兵庫県洲本市小路谷1053-16 TEL 0799-22-2521 / FAX 0799-22-2521 http://www.ajwajiharanogyo.com/	JR舞子駅から ハイウェイバスで60分		島花 〒656-0023 兵庫県洲本市小路谷1277-5 TEL 0799-22-2521 / FAX 0799-22-2521 http://www.shimahana.com/	JR舞子駅から ハイウェイバスで60分
	夢海楼 暖陽亭 〒656-0024 兵庫県洲本市山手1-1-50 TEL 0799-22-2521 / FAX 0799-22-2521 http://www.yumekaiyu.com/	JR舞子駅から ハイウェイバスで60分		プラザ淡路島 〒656-0542 兵庫県南あわじ市阿万吹上町1433-2 TEL 0799-22-2521 / FAX 0799-22-2521 http://www.plazasawajishi.com/	JR舞子駅から ハイウェイバスで80分
	あわじ浜離宮 〒656-0304 兵庫県南あわじ市松帆古津路970-81 TEL 0799-22-2521 / FAX 0799-22-2521 http://www.awajihamarikyū.com/	JR舞子駅から ハイウェイバスで50分		あわじ浜離宮 別荘 TAKUMI 〒656-0304 兵庫県南あわじ市松帆古津路970-6 TEL 0799-22-2521 / FAX 0799-22-2521 https://www.hamarikyū-takumi.com/	JR舞子駅から ハイウェイバスで50分
	海の道 〒656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲1529-7 TEL 0799-22-2521 / FAX 0799-22-2521 https://www.minatokoyado.com/	JR舞子駅から ハイウェイバスで50分		坂のホテル京都 〒605-0862 京都市東山区清水4-200 TEL 075-561-0061 / FAX 075-561-0075 https://www.saka-hotel.com/	京阪紙園四条駅 から徒歩15分
	SHERATON Kobe Bay Hotel & Towers 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-13(六甲アイランド) TEL 078-857-7000 / FAX 078-857-7001 http://www.sheraton-kobe.co.jp/	JR住吉駅から 六甲ライナーで9分		ザ・シロヤマテラス津山別邸 THE SHIROYAMA TERRACE TSUYAMA VILLA 〒708-0022 岡山県津山市山下30-1 TEL 0868-24-2111 / FAX 0868-23-1122 https://www.tsuyama-bettei.com/	JR津山駅から 徒歩10分
	琴平花壇 〒766-0001 香川県仲多度郡琴平町1241-5 TEL 0877-75-3232 / FAX 0877-75-3235 http://www.kotohira-kadan.jp/	高松自動車道・ 善通寺ICより約15分		阿讃琴南 〒766-0204 香川県仲多度郡まんのう町勝浦1 TEL 0799-22-2521 / FAX 0799-22-2521 http://www.asakotonami.com/	JR琴平駅より 琴参バスで35分

ホテルニューアワジグループ 代表取締役 木下 紘一 (昭和36年卒)

真空蒸着箔・ホログラム・転写箔一般 総合メーカー

 **NIKKA TECHNO, INC.**

株式会社 **ニッカテクノ**

本社工場

〒601-8177 京都市南区上鳥羽馬廻し5番地
電話(075)671-3344(代表)

吉祥院工場

〒601-8351 京都市南区吉祥院這登西町41番地
電話(075)671-0308

久御山工場

〒613-0036 京都府久世郡久御山町田井新荒見86-1
電話(0774)44-3598



本社

〒606-8152 京都市左京区一乗寺下り松町16番地
電話(075)781-9458

久御山工場

〒613-0036 京都府久世郡久御山町田井新荒見90-2
電話(0774)43-6996

代表取締役会長 **中山太一郎**(洛北7回)

企画・設計・監理

 **株式会社 住建設計**

会長 **若野弘士**(洛北7回卒)

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町 579-1
山崎メディカルビル 6F
TEL: 075-344-0500 / FAX: 075-344-0501
mail: kyoto@jyuken-sekkei.co.jp
HP: www.jyuken-sekkei.co.jp



高野店

調剤薬剤師募集中!
在宅介護訪問も行っております

処方箋調剤・第一類 OTC 販売薬局

(株)フジタ薬局

代表取締役 **藤田 哲**(洛北15回卒)

高野店 京都市左京区高野西開町 55-2
TEL 712-7612 FAX 712-7624

小栗栖店 京都市伏見区小栗栖南後藤町 3-13
TEL 572-5570 FAX 572-3970

石田店 京都市伏見区石田森東町 3-10
TEL 571-1455 FAX 575-3813

耳鼻咽喉科

松岡 医院

院長／松岡 秀樹 洛北10回

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～11:30	○	○	○	×	○	○
午後 4:30～ 7:00	○	○	○	×	○	×



左・田中西大久保町42
(東大路元田中上る100m・左京消防署南隣り)

☎781-2751



内科・消化器科・生活習慣病指導

三浦 診療所

三浦 賢佑 (洛北9回卒)

電話 (075) 781-2528

E-mail fwga5847@nifty.com

京都市左京区下鴨本町 12

(洛北高校前交差点 北東角) 1・2階

診療時間	月	火	水	木	金	土
一般診療 (予約制、急患は随時受け付け)						
9:00 ～12:00	○	○	○	○	○	○
往 診 (予約制、急患は随時受け付け)						

日・祝日 休診

京都市左京区下鴨本町11番地
洛北高校交差点久米衣料品店ビル1F

(075) 712-0190

眼科診療
コンタクトレンズ

西村 眼科 医院

医師 西村 加代子
(旧姓 久米加代子)
昭和40年卒業(洛14)

ひろた 耳鼻咽喉科 医院

院長 廣田隆一 (旧姓:小松・洛北40期卒)
廣田真理子

ネット・電話で当日順番予約ができます (予約なしでも診察できます) 駐車場10台

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:30 (土曜日は13:00まで)	●	●	●	—	●	●
午後 4:30～7:30	●	●	●	—	●	—



山科区西野山中鳥井町 75-1

お問合せ 075-594-1133

予約専用電話 050-5577-7067

オンライン予約 [ひろた耳鼻咽喉科 京都](#) [検索](#)

順番予約は、受診当日の朝7時より可能です

阪神高速「山科I.C.」すぐ 京阪バス「大石神社」バス停下車すぐ
地下鉄東西線「柳辻(なぎつじ)」駅下車 西へ徒歩15分

京都心理臨床 研究所

元龍谷大学教授
臨床心理士
日本精神分析学会認定心理療法士

代表 **寺井 さち子** (洛北16期)
(旧姓 上野)

京都市下京区河原町通松原上ル
清水町454-1 林ビル506
TEL. 090-1969-2561
<https://www.kyoto-shinri.com>

こころの悩み、まずはお相談下さい。

家族や対人関係
不登校、ひきこもり
自分自身に関する悩み
育児の不安

日本生花司

松月堂古流

植松雅房(洛北6回卒)

1761年の創流以来
珠玉の美を伝えて250年

〒606-0812
京都市左京区下鴨上川原町29
TEL (075) 721-0515



ミリア *Artificial Millya*

アーティフィオーリ ミリア

午前中の
レッスンも
OKです

造花

ポーセリンアート・ハーバリウム
今井 京子

営業時間 / 13:00~19:00 (不定休)
叡山電鉄修学院駅より徒歩3分
TEL・FAX: 075-791-6115



ブログ公開中 造花 ミリア 検索

今井設計 京都・東京 今井 秀明 (洛20卒)
TEL・FAX: 075-791-6111 (代表)



秋津洲法律事務所

弁護士

本田陸士 (洛北10回)

〒530-0047

大阪市北区西天満2-10-2

幸田ビル903

TEL (06) 6365-7257

FAX (06) 6365-5698



パジャマ&インナー 製造販売

〒616-8208

京都市右京区宇多野福王子町9-10

Tel/Fax: (075)464-9688

URL: <http://www.mamawork.info/>

ハンドメイドクラフト

ママワーク 宇多野店

右京区宇多野福王子交差点西へ50m

Tel/Fax: (075)464-9077

代表 三島康之(洛14回生)

医療法人
八田内科医院

医師 八田 一郎 (洛北5回)

左京区修学院薬師堂町4
(サギノ森神社鳥居前)
電話 075-701-4805

株式会社オーエムサービス

コマーシャル 人材派遣・業務委託

一般労働者派遣事業許可番号般13-011426

代表取締役会長 折戸 勝 洛北6回卒

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町2-19-8 酒井ビル9F

TEL. 03-6262-9092 FAX. 03-6262-9068

〒222-0024

横浜市港北区篠原台町31-1

TEL. 045-431-0890 FAX. 045-431-0861

こんな時は・・・ ☎075-361-2653

私の振袖を娘に着て欲しいけれど寸法が違う
母が作ってくれた着物が派手になった
久しぶりにダンスを開いたら喪服にカビが
他人に相談しにくい着物のあんな事こんな事

京悉皆 **株式会社鶴屋**

大橋 晃 (洛北28回卒)

平塚泉土地家屋調査士事務所

平塚 泉 (洛22回卒)

登録番号 京都546号 認定調査士 第213004号

〒604-0022

京都市中京区御池通室町西北角 ミサワ京都ビル7階

京都太陽合同事務所内

TEL (075) 211-6000(代) FAX (075) 211-6120

E-mail: hiramedesu@aol.com

URL: <http://www.taiyo-rna.jp/>



つくる つたわる つながる
T-PLUS

Webサイト制作、撮影、動画編集、ノベルティ、印刷、雑誌編集、発送代行、グラフィックデザイン、
コピーライト、セールスプロモーション、ブランディング、デジタルマーケティング、イベント運営

株式会社ティ・プラス

〒604-8457 京都市中京区西ノ京馬代町6-16 TEL 075-462-7889 FAX 075-464-3923
E-mail: info@tplus-group.co.jp <https://tplus-group.co.jp>

CDI

Communication Design Institute

京都市中京区巴町83番地

株式会社シー・ディー・アイ

代表取締役 疋田 正博(洛12)

京都府立京都第一中学校校歌

作詞 有川 武彦
作曲 ヨーゼフ・F・ワグナー
編曲 小宅 歆一

一 比叡の峰に あかねさす
光栄の光を 仰ぎては

高き理想を 遠く馳せ

加茂の川瀬に 澄む月の

真如の影を 眺めては

清き心を 研くかな

三 神楽が丘に 咲く花の
匂う桜の 蔭にして

凝りし一中 魂の

高き頁を 繰り見れば

誇は残る 先人の

功に薫る 年代記

二 今し角ぐむ 新草の

生々の氣に もゆる意氣

声ものどけき 春鳥の

講えて謳う 平和の譜

力あふる、若き子の

学園は自由の 永久の幸

四 然あれ我等も 徒らに
去にし繁榮に 憧憬れて

行手忘る、ものならじ

いよ、歴史を 飾るべく

友よ健児よ 急ぎなむ

光の海に 帆を揚げて

洛北高等学校校歌

作詞 吉川幸次郎
作曲 芥川也寸志

一 千年の 森かげに
一頃の 緑もえ

真理をおもひとみいくばく

ここにわれここにつどえば

めじとおくくもはゆきかい

ふるきみやこの北にして

あたらしきつちここにあり

二 片おかに しぐれして
あめつちの ひそまれば

げにしずかなる 学のよろこび

むねにみちむねにあふれて

ささめくは 鴨のながれか

ふるきみやこの北にして

あたらしきつちここにあり

三 うつくしき 世のために
まことある 世のために

たまきわるわがいのちめでつつ

友とおり友とうたえは

ゆたかなるゆくすえのゆめ

ふるきみやこの北にして

あたらしきつちここにあり

※京一中創立50周年(大正九年)作詞当時の歌詞。三番は「神楽が丘の昔より」二番は「学園は輝く」と歌われた時期があった。

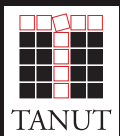
※中国の土地面積の単位。1000畝(ほ)約10,0000m

公共幸福

新しい経営はみんながしあわせであること

三十二回卒 代表取締役 山岸 暢

株式会社タナツ www.tanut.co.jp



東京本社 〒105-0011 東京都港区芝公園1-1-11 興和芝公園ビル3階
大阪支社 〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町4-2-6 平松ビル2階
タナツネーチャーLab
〒656-1732 兵庫県淡路市小田1784-1



患者本位の医療と介護
<http://www.kaiseikai.or.jp>

医療法人 回生会

理事長
出射靖生 (洛北13回卒)
〒600-8814 京都市下京区中堂寺庄ノ内町8-1

日本医療機能評価機構認定病院

京都回生病院

京都市下京区松原通七本松西入ル 〒600-8814
TEL(075)311-5121(代) FAX(075)314-1843

- 訪問看護ステーション かいせい
- 在宅介護支援センター京都回生病院
- 訪問リハビリテーション かいせい
- 京都回生病院 デイケアセンター
- 京都回生病院 居宅介護支援事業所

介護老人保健施設

ケアセンター回生

京都府向日市物集女町中海道19番地の5 〒617-0001
TEL(075)934-6888(代) FAX(075)934-7513

- ケアセンター回生 デイケア
- ケアセンター回生 居宅介護支援事業所
- 訪問看護ステーション第二かいせい
- 向日市北地域包括支援センター

グッドエイジング リハビリテーションかいせい

京都府向日市寺戸町殿長17 K&Cコート1階 〒617-0002 TEL(075)934-3319 FAX(075)934-3318

クリニック回生

京都市中京区御幸町通錦小路上ル 〒604-8051
TEL(075)255-0253 FAX(075)255-0254

- 皮膚科/美容皮膚科/小児皮膚科/内科(金曜AM)/外科-整形外科(水曜PM)/リハビリテーション科
- 訪問診療
 - アンチエイジングリハビリテーション回生
 - 訪問リハビリテーション クリニック回生

日本医療機能評価機構認定病院

医療法人真生会 向日回生病院

〒617-0001 京都府向日市物集女町中海道92-12 TEL(075)934-6881(代) FAX(075)933-9413

- 訪問リハビリテーション向日かいせい <http://shinseikai.jpn.com>
- サテライトステーション長岡

〒617-0823 京都府長岡京市長岡2丁目27 マンハイム長岡南棟301号 TEL&FAX(075)952-7317



京都回生病院



ケアセンター回生



クリニック回生

